

2026年度 履修要覧

教育学部

学部共通事項

教育学部
経済情報学部
看護学部
人文学部

教育学部

経済情報学部

看護学部

人文学部

授業科目

授業科目の体系

卒業要件は、この分類によって指定されます。
具体的な科目名については、教育課程を参照してください。

- 建学の精神に関する科目
- 教養基礎科目（Yawaragi Basis）
- 専門科目

履修上の分類

必修科目	必ず履修しなければならない科目
選択必修科目	指定された科目の中から選択し、所定の単位数を必ず履修しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修できる科目
自由選択科目	単位認定はされるが、卒業要件に含まれない科目

履修上の注意点

- ・在学年次よりも上級年次の授業科目は、履修できません。
- ・既に単位修得した授業科目は、再履修することができません。

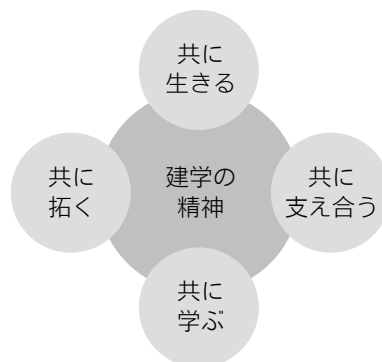
Yawaragi Basisとは

「Yawaragi Basis」とは、本学の建学の精神を根幹とした学部横断型の教養教育です。
本学の建学の精神である仏教精神を具体的にあらわす言葉として、聖徳太子の『十七条憲法』の第一条にある「以和為貴」（和をもって貴しとなす）や「平等」「寛容」「利他」を掲げています。

「以和為貴」の「和」は、「やわらかなこころ」であることから、「Yawaragi Basis」と名づけています。

「Yawaragi Basis」では、「共に支えあい 創造し未来を切り拓く力」を身につけます。異なる学部の学生が共に学び、交流し、幅広い知識を身につけて、柔軟性のある思考力を涵養します。

「共に学ぶ」科目
基礎学力、知識、国語力、体力、精神力を身につけます。 基礎セミナー／スポーツ／心理学概論／歴史学／日本国憲法／キャリアプラン
「共に拓く」科目
日本の伝統・文化・歴史、異なるものを理解する能力、情報リテラシー、語学力を身につけます。 ICT基礎／データサイエンス／外国語科目群／映画学／日本文化論／異文化論／芸術論
「共に生きる」科目
地球規模の視野、歴史的な視点、多角的な視点で物事を考える力を身につけます。 ジェンダー論／哲学／経済学／現代環境科学／数学／天文学／生物と環境／現代社会と福祉／岐阜学
「共に支え合う」科目
社会との関わりの中で自己を位置づける力を身につけます。 災害と危機管理／家族と社会保障／レクリエーション／食生活論／健康科学／健康科学概論／スポーツトレーニング概論



Yawaragi Basis

クリスタルプラン とは

クリスタルプランとは、理論と実践の往還をベースに、豊富な学校体験活動等を通して実践的指導力を育成する、地域と密着した体験型教員養成プロジェクトです。

学生に教育現場で体験を促す「教職体験科目」と、学生主導による自主的かつ創造的活動を評価する「子ども理解科目」の2つの柱に、デジタル技術を用いた教育改革力を養成する「教育DX・探究科目」が有機的に結びつき、深い学びを生み出す構成となっています。

1年次から4年次までの4年間にわたって、子どもと関わり、数多くの実習を経験するとともに、その省察と課題探究に取り組むなかで、教員採用当初から即戦力となる質の高いスペシャリストを目指します。

【教職体験科目】

「教職体験科目」では、各市町教育委員会との連携のもと、1年次から教育現場を訪れ、教員としての姿勢や知識を培います。4年間を通して多彩な実習を体験でき、教員になるための土台を築くことができます。

○授業科目

- 学校ふれあい体験（1年次）
- 教育実践観察（2年次）
- 介護等の体験（含 事前事後指導）（1・2年次）
- 教育実習（3・4年次）

【子ども理解科目】

「子ども理解科目」では、1年次からの「教職体験科目」において学んだ「子ども」に関する理解をインターンシップやボランティア活動、サークル・クラブ活動等の子どもと直接関わる活動を通してさらに深めるとともに、子どもの思いやその背景にあるものをとらえ、子どもとともに創る安定した学級を土台に、授業や行事で教育効果を生み出すための教師力を培います。

○授業科目 ※<>は関連科目

- <学校ふれあい体験（1年次）>
- <教育実践観察（2年次）>
- <教育実習（3・4年次）>
- 子ども理解活動Ⅰ（3年次）
- 子ども理解活動Ⅱ（4年次）

【教育DX・探究科目】

「教育DX・探究科目」では、教育現場でのICT活用指導力等を学び、各教科の授業や生徒指導、学級経営等において、デジタル技術を活用し、新しい教育を探究、創造することによって、教育をよりよく変革すること（DX：デジタルトランスフォーメーション）ができる力を身につけます。

○授業科目 ※<>は関連科目

- 教育DX・探究活動Ⅰ（1年次）
- 教育DX・探究活動Ⅱ（2年次）
- <教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）（2年次）>
- <教育実習（3・4年次）>
- <デジタル・シティズンシップ論（4年次）>

数理・データサイエンス・AI教育（リテラシーレベル）プログラム

- ICT基礎、データサイエンス入門（1年次）
- データサイエンス基礎（2年次）
- データサイエンス（教育活用論）（2年次）

【幼保小架け橋科目】※1

「幼保小架け橋科目」では、小学校教育を見据えた幼児教育・保育を学び、幼児期の学びを基盤とした幼児教育・保育と小学校教育との架け橋的存在となる教員・保育者を目指し、幼保小が協働して教育を展開できる力を身につけます。

○授業科目 ※<>は関連科目

- 保育体験演習（1年次）※2
- 遊び学（2年次）※2
- <教育実習（3・4年次）>
- 幼保小連携研究（4年次）

※1 幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状を取得した上で、大学が指定する上記の授業科目をすべて修得した学生には幼保小接続を意識した教育を展開できる人材を証明するための称号「幼保小架け橋ティーチャー」（本学独自資格）を付与します。

※2 保育初等教育専修以外は履修制限があります。

単位制

算出方法

大学での教育課程は単位制となっています。
開講授業科目には、それぞれの単位数が定められており、その単位を修得するには、科目の履修をし、所定の試験等に合格することが必要です。

単位は、授業科目の修得に必要な学修量を数字で表すものです。
本学では、各授業科目の毎週1回当たりの授業時間は90分ですが、これを制度上2時間として計算しています。
授業は前期15週、後期15週の30週が開講されることになっています。各授業科目の単位計算は、科目の種類・性質によって異なり、本学部では次のように定めています。

①講義科目

15時間の授業で1単位となります。
これにより、毎週1回1セメスター（半年間）の授業で2単位、2セメスター（週2回の場合は半年、週1回の場合は通年）の授業で4単位となります。
ただし、科目によっては、単位数の異なるものがあります。

②演習科目

30時間の授業で1単位となります。
これにより、毎週1回1セメスター（半年間）の授業で1単位となります。
ただし、15時間の授業で1単位となる科目もあります。

③実験・実習・実技科目

30時間の実験・実習・実技で1単位となります。
これにより、毎週1回1セメスター（半年間）の授業で1単位となります。
ただし、科目によっては、単位数の異なるものがあります。

また、学修量は、上記の授業時間数だけで算定されるものではなく、教室外で自学自習する時間も含むことになっています。1単位の学修時間は、授業時間とその授業のための準備（予習・復習）をする教室外での自学自習時間を合わせた45時間となっています。例えば講義2単位（30時間）の場合、60時間の自学自習時間が必要となります。

なお、学外実習については、別に定めます。

C A P 制

C A P 制とは

半期に履修登録できる単位数に上限を定め、授業科目を適切に履修するための制度です。この上限を超える履修登録はできません。

1 単位の学修時間は、授業時間とその授業のための準備（予習・復習）をする教室外での自学自習時間を合わせて 45 時間となっています。履修した科目に比例して、それぞれに必要な学修時間も増えることとなるため、履修登録できる単位数を制限することで、履修科目について十分な学修時間を確保することができ、また学修した内容を真に身につけることができます。

履修登録 上限単位数

前期 25 単位

後期 24 単位

ただし、当該学期の直前の学期の G P A に基づき、次のとおり単位数の上限を変更して取り扱います。

直前の学期の G P A が 1.5 未満の者 22 単位

対象科目

卒業要件に算入できる科目を対象とします。

卒業要件

卒業するためには、休学期間を除き4年以上在学し、次の表を充足する単位数の修得が必要です。

		学校教育課程			
		国語・社会・数学・理科 音楽・英語専修		体育専修	
		必修	選択	必修	選択
建学の精神に関する科目		4	—	4	—
教養基礎科目（Yawaragi Basis）		11	3	11	3
（合計）		18		18	
専門科目	教育学部共通科目	3	3	3	3
	教科・指導法科目	46	14	54	6
	教育の基礎的理解科目	22	4	22	4
	（合計）	92		92	
卒業資格最低単位数合計		128		128	

		学校教育課程			
		保育初等教育専修		特別支援教育専修	
		必修	選択	必修	選択
建学の精神に関する科目		4	—	4	—
教養基礎科目（Yawaragi Basis）		11	3	11	3
（合計）		18		18	
専門科目	教育学部共通科目	4	4	3	3
	教科・指導法科目	49	9	39	16
	教育の基礎的理解科目	24	2	22	4
	（合計）	92		87	
卒業資格最低単位数合計		128		128	

		学校教育課程	
		学校心理専修	
		必修	選択
建学の精神に関する科目		4	—
教養基礎科目（Yawaragi Basis）		11	3
（合計）		18	
専門科目	教育学部共通科目	3	3
	教科・指導法科目	32	21
	教育の基礎的理解科目	22	4
	（合計）	85	
卒業資格最低単位数合計		128	

学校教育課程特別支援教育専修の学生は、中学校・高等学校免許状取得のために修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解科目等」の13単位を、「教養・専門選択から23単位修得」の単位に充てることができる。

学校教育課程学校心理専修の学生は、中学校・高等学校免許状取得のために修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解科目等」の13単位を、「教養・専門選択から25単位修得」の単位に充てることができる。

教育課程

(1) 開講年次欄の1・2・3・4は学年を示し、●・■・○の位置が左寄りは前期、右寄りは後期、中央は通年の開講を表します。

●：週1回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目

○：週2回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目

■：週1回開講し、2セメスター（1年）で完結する科目

☆：不定期に開講し、2セメスター（1年）で完結する科目（授業日は別途連絡します）

△：週1回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目のうち、再履修者を対象とした開講科目

前後期両方に●が付いている科目は時間割表（履修の手引き）で指定されたクラスで受講してください。やむを得ない事情により開講期を変更することがあります。開講しない場合もありますので必ずその年度の時間割表を確認してください。

(2) 講義区分欄の「講」は講義科目、「演」は演習科目、「実」は実習・実験・実技科目を表します。

(3) 備考欄に履修上の注意が記載されている場合は、指示に従ってください。

〔建学の精神に関する科目〕

開講授業科目		講義区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
建学の精神に関する科目	宗教学Ⅰ	講	2	2		●				
	宗教学Ⅱ	講	2	2		●				
最低修得単位				4	0					
				4単位						

〔教養基礎科目（Yawaragi Basis）〕

YB 科目群	学則 区分	開講授業科目	講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考	
					必修	選択	1	2	3	4		
共に学ぶ	基礎力	基礎セミナーⅠ	演	1	1		●				「心理学概論」は学校心理 専修の履修を優先する。	
		基礎セミナーⅡ	演	1	1		●					
		基礎セミナーⅢ	演	1	1			●				
		スポーツⅠ	実	1	1		●					
		スポーツⅡ	実	1	1		●					
	人文科学	心理学概論	講	2			●	●				
		歴史学	講	2			●	●				
社会科学	日本国憲法	講	2	2			●	●				
	キャリアプラン	講	2				●	●				
共に拓く	基礎力	ICT基礎	演	1			●					留学時における 単位認定
		データサイエンス入門	講	2	2		●					
		データサイエンス基礎	演	1				●				
	言語とコミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ	演	1	1		●					
		英語コミュニケーションⅡ	演	1	1		●					
		英語コミュニケーションⅢ	演	1				●				
		英語コミュニケーションⅣ	演	1					●			
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	演	1			●					
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	演	1				●				
		フランス語コミュニケーションⅠ	演	1			●					
		フランス語コミュニケーションⅡ	演	1				●				
		中国語コミュニケーションⅠ	演	1			●					
		中国語コミュニケーションⅡ	演	1				●				
		ポルトガル語コミュニケーションⅠ	演	1			●					
		ポルトガル語コミュニケーションⅡ	演	1				●				
		韓国語コミュニケーションⅠ	演	1			●					
		韓国語コミュニケーションⅡ	演	1				●				
		外国文化事情ⅠA	演	1					●			
	外国文化事情ⅠB	演	1					●				
	人文科学	映画学	講	2			●	●				
		日本文化論	講	2			●	●				
	社会科学	異文化論	講	2			●	●				
		芸術論	演	1			●	●				
	共に生きる	人文科学	ジェンダー論	講	2			●	●			
			哲学	講	2			●	●			
		社会科学	経済学	講	2			●	●			
			現代環境科学	講	2			●	●			
自然科学		数学	講	2			●	●				
		天文学	講	2			●	●				
		生物と環境	講	2			●	●				
複合領域		現代社会と福祉	講	2			●	●				
		岐阜学	講	2			●	●				
共に支え合う	社会科学	災害と危機管理	講	2			●	●				
		家族と社会保障	講	2			●	●				
	複合領域	レクリエーション	講	2			●	●				
		食生活論	演	1			●	●				
		健康科学	講	2			●	●				
		健康科学概論	講	2			●	●				
		スポーツトレーニング概論	講	2			●	●				
最低修得単位				11	3	※人文科学、社会科学、自然科学の分野から、それぞれ最 低1科目は履修することが望ましい。						
				14単位								

留学生・帰国生徒に適用

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
教養科目	日本文化事情Ⅰ	講	2			●				※ 1
	日本文化事情Ⅱ	講	2			●				
	日本社会事情Ⅰ	講	2			●				
	日本社会事情Ⅱ	講	2			●				
外国語科目	日本語コミュニケーションⅠ	演	1			●				※ 2
	日本語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
	日本語Ⅰ	演	1			●				
	日本語Ⅱ	演	1			●				

※ 1 合計 4 単位まで、教養基礎科目の選択科目として履修できる。

※ 2 「言葉とコミュニケーション」として履修できる。

〔学校教育課程専門科目〕

1-1. 教育学部共通科目（国語・社会・数学・理科・音楽・体育・英語・特別支援教育・学校心理専修）

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				
				必修	選択	1	2	3	4	
科目 教職 体験	学校ふれあい体験	講・実	1	1	}	☆				
	教育実践観察	講・実	1				☆			
	介護等の体験（含 事前事後指導）	講・実	2				☆			
探究 科目 教育 DX・	教育DX・探究活動Ⅰ	演	1	1		●				
	教育DX・探究活動Ⅱ	演	1	1			●			
科目 架け 橋 幼保小	保育体験演習	演	1	}		●				
	遊び学	講	2					●		
	幼保小連携研究	講	2							●
教育 研究 科目	人権教育	講	2						●	
	外国人日本語教育と国際理解	講	2						●	
	教師コミュニケーション力演習	演	1							●
	学習環境構成と学習指導改革	講	2							●
	授業力アップと研究・研修力	講	2							●
	教師力総合演習	演	1							●
	社会的養育実践論	講	2							●
	データサイエンス	演	1					●		
	デジタルシティズンシップ論	演	1							●
	科目 理 解 子ども	子ども理解活動Ⅰ	講・実			1				☆
子ども理解活動Ⅱ		講・実	1							☆
最低修得単位						3	3			
				6単位						

子ども理解活動はⅠから履修すること。

1-2. 教育学部共通科目（保育初等教育専修）

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				
				必修	選択	1	2	3	4	
科目 教職 体験	学校ふれあい体験	講・実	1	1	}	☆				
	教育実践観察	講・実	1				☆			
	介護等の体験（含 事前事後指導）	講・実	2				☆			
探究科目 教育DX・	教育DX・探究活動Ⅰ	演	1	1		●				
	教育DX・探究活動Ⅱ	演	1	1			●			
科目 架け 橋	保育体験演習	演	1	1		●				
	遊び学	講	2	}				●		
	幼保小連携研究	講	2							●
教育研究科目	人権教育	講	2						●	
	外国人日本語教育と国際理解	講	2						●	
	教師コミュニケーション力演習	演	1							●
	学習環境構成と学習指導改革	講	2							●
	授業力アップと研究・研修力	講	2							●
	教師力総合演習	演	1							●
	社会的養育実践論	講	2							●
	データサイエンス	演	1					●		
	デジタルシティズンシップ論	演	1							●
	科目 理 解	子ども理解活動Ⅰ	講・実			1				☆
子ども理解活動Ⅱ		講・実	1							☆
最低修得単位						4	4			
				8単位						

教育職員免許状を取得するための必修科目は 、選択科目は で表示している。（詳細は P. 61 以降を参照）
講・実 は講義と実習の組み合わせ科目を表す。

2-1. 国語専修 教科及び指導法に関する科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考			
					必修	選択	1	2	3	4				
初等教科専門科目	初等国語（含書写）	講・演	2	2	必修を除き5単位	●	●							
	初等社会	講	2			●	●							
	初等算数	講	2			●	●							
	初等理科Ⅰ	演	1			●	●							
	初等理科Ⅱ	演	1				●							
	初等生活Ⅰ	講	2			●	●							
	初等生活Ⅱ	演	1					●						
	初等音楽Ⅰ	演	1			1	●	●						
	初等音楽Ⅱ	演	1				●							
	初等図画工作Ⅰ	演	1			1	●	●						
	初等図画工作Ⅱ	演	1					●	●					
	初等家庭Ⅰ	演	1				●	●						
	初等家庭Ⅱ	演	1					●						
	初等体育Ⅰ	演	1			1		●						
初等体育Ⅱ	演	1					●							
初等英語	講	2		●	●									
初等教科指導法	初等教科教育法（国語）	講	2	必修を除き6単位			●	●						
	初等教科教育法（社会）	講	2				●	●						
	初等教科教育法（算数）	講	2				●	●						
	初等教科教育法（理科）	講	2			●	●							
	初等教科教育法（生活）	講	2						●	●				
	初等教科教育法（音楽）	講	2			2		●	●					
	初等教科教育法（図画工作）	講	2			2		●	●					
	初等教科教育法（家庭）	講	2						●	●				
	初等教科教育法（体育）	講	2			2		●	●					
	初等教科教育法（英語）	講	2				●	●						
	保育内容指導法	保育内容総論	演			1								
保育内容演習（健康Ⅰ）		演	1		●						●			
保育内容演習（健康Ⅱ）		演	1											
保育内容演習（人間関係Ⅰ）		演	1	●										
保育内容演習（人間関係Ⅱ）		演	1							●				
保育内容演習（環境Ⅰ）		演	1		●									
保育内容演習（環境Ⅱ）		演	1							●				
保育内容演習（言葉Ⅰ）		演	1	●										
保育内容演習（言葉Ⅱ）		演	1							●				
保育内容演習（表現Ⅰ）		演	1	●							●			
保育内容演習（表現Ⅱ）		演	1							●				
保育内容演習（表現Ⅲ）		演	1							●				
幼児と健康		演	1	●										
幼児と言葉		演	1	●										
幼児と環境		演	1		●									
幼児と人間関係		演	1	●										
幼児と表現		演	1	●										
幼児と音楽表現	演	1								●				
幼児と造形表現	演	1								●				
国語学	国語学Ⅰ（音声言語を含む。）	講	2	2	必修の外14単位	●								
	国語学Ⅱ（文章表現を含む。）	講	2			2	●							
	国語文法論	講	2						●					
	言語文化論	講	2						●					
国文学	国文学概論Ⅰ	講	2	2		●								
	国文学概論Ⅱ	講	2	2			●							
	国文学史Ⅰ	講	2	2				●						
	国文学史Ⅱ	講	2					●						
	国文学講読Ⅰ	講	2					●						
	児童文学	講	2						●					
	国文学講読Ⅱ	講	2							●				
	国文学講読Ⅲ	講	2								●			
	国文学各論Ⅰ	講	2			●								
漢文学	漢文学Ⅰ	講	2	2						●				
	漢文学Ⅱ	講	2				●							
	漢文学Ⅲ	講	2					●						
	漢文学Ⅳ	講	2						●				●	
書道	書道Ⅰ（書写を中心とする）	演	1	1			●							
	書道Ⅱ	演	1	1				●						
	書道Ⅲ	演	1							●				
複合科目	国語教育学	講	2						●					
	国語教育史	講	2							●				
中等教科指導法	中等教科教育法Ⅰ（国語）	講	2	2	必修の外14単位	●								
	中等教科教育法Ⅱ（国語）	講	2			2		●						
	中等教科教育法Ⅲ（国語）	講	2						●					
	中等教科教育法Ⅳ（国語）	講	2							●				
卒業研究	卒業研究		4	4							■			
	専門演習Ⅰ	演	1	1					●					
	専門演習Ⅱ	演	1	1						●				
	専門演習Ⅲ	演	1								●			
	専門演習Ⅳ	演	1										●	
最低修得単位				46		14							専門演習Ⅲ・Ⅳについては指導教員の指示に従うこと。	
				60単位										

中学校・高等学校免許を取得するための必修科目は、選択科目は、で表示している。（詳細は P. 64 及び P. 65 を参照）

講・演は講義と演習の組み合わせ科目を表す。

国文学講読・国文学各論・漢文学はⅠから順番に履修しなくてもよい。数字は時代や分野・内容により区分している。

2-2. 国語専修 教育の基礎的理解科目等

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位 必修 選択	開講年次				備考
						1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2	2	4	● ●				
	教師論	講	2	2		●				
	教育の社会制度論	講	2	2			● ●			
	教育社会学	講	2					●		
	教育行政学	講	2					●		
	教育心理学	講	2	2		● ●				
	発達心理学	講	2				● ●			
	特別支援教育基礎	講	2	2				● ●		
	教育課程論	講	2	2				● ●		
道徳、総合的な学習の時間、 生徒指導、教育相談等	道徳教育の指導法	講	2	2			● ●			
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2			● ●			
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2	2			● ●			
	生徒・進路指導論	講	2	2				● ●		
	幼児理解	講	2					●		
	教育相談	講	2	2					● ●	
教育実践	幼稚園教育実習（事前事後）	講	1						☆	
	幼稚園教育実習	実	4						☆	
	小学校教育実習（事前事後）	講	1					☆		
	小学校教育実習	実	4					☆		
	中学校教育実習（事前事後）	講	1					☆		
	中学校教育実習	実	4					☆		
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2						●	
最低修得単位				22	4					
				26 単位						

3-1. 社会専修 教科及び指導法に関する科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考	
					必修	選択	1	2	3	4		
初等教科専門科目	初等国語（含書写）	講・演	2	2	必修を除き5単位		●	●				
	初等社会	講	2			●	●					
	初等算数	講	2			●	●					
	初等理科Ⅰ	演	1			●	●					
	初等理科Ⅱ	演	1				●					
	初等生活Ⅰ	講	2	1		●	●					
	初等生活Ⅱ	演	1				●					
	初等音楽Ⅰ	演	1			●	●					
	初等音楽Ⅱ	演	1				●					
	初等図画工作Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等図画工作Ⅱ	演	1				●	●				
	初等家庭Ⅰ	演	1			●	●					
	初等家庭Ⅱ	演	1				●					
	初等体育Ⅰ	演	1	1			●					
初等体育Ⅱ	演	1					●					
初等英語	講	2	●			●						
初等教科指導法	初等教科教育法（国語）	講	2	必修を除き6単位				●	●			
	初等教科教育法（社会）	講	2				●	●				
	初等教科教育法（算数）	講	2				●	●				
	初等教科教育法（理科）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（生活）	講	2					●	●			
	初等教科教育法（音楽）	講	2				●	●				
	初等教科教育法（図画工作）	講	2				●	●				
	初等教科教育法（家庭）	講	2					●	●			
	初等教科教育法（体育）	講	2				●	●				
	初等教科教育法（英語）	講	2				●	●				
	保育内容指導法	保育内容総論	演		1	必修を除き2単位	必修の外14単位					●
保育内容演習（健康Ⅰ）		演	1		●							
保育内容演習（健康Ⅱ）		演	1						●			
保育内容演習（人間関係Ⅰ）		演	1	●								
保育内容演習（人間関係Ⅱ）		演	1					●				
保育内容演習（環境Ⅰ）		演	1		●							
保育内容演習（環境Ⅱ）		演	1					●				
保育内容演習（言葉Ⅰ）		演	1	●								
保育内容演習（言葉Ⅱ）		演	1					●				
保育内容演習（表現Ⅰ）		演	1	●								
保育内容演習（表現Ⅱ）		演	1					●				
保育内容演習（表現Ⅲ）		演	1					●				
幼児と健康		演	1	●								
幼児と言葉		演	1	●								
幼児と環境		演	1		●							
幼児と人間関係		演	1	●								
幼児と表現		演	1	●								
幼児と音楽表現		演	1						●			
幼児と造形表現		演	1						●			
日本史	日本史概論Ⅰ	講	2	2	●							
	日本史概論Ⅱ	講	2		●							
	日本史特講Ⅰ	講	2					●				
	日本史特講Ⅱ	講	2						●			
外国史	外国史概論Ⅰ	講	2	2	●							
	外国史概論Ⅱ	講	2		●							
	外国史特講Ⅰ	講	2					●				
	外国史特講Ⅱ	講	2						●			
地理学	地理学概論	講	2	2				●				
	人文地理学	講	2					●				
	自然地理学	講	2						●			
	地理学特講	講	2						●			
	地誌学Ⅰ	講	2		●							
	地誌学Ⅱ	講	2		●							
法律学・政治学	地誌学特講	講	2	2			●					
	法律学概論Ⅰ（国際法を含む。）	講	2			●						
	法律学概論Ⅱ	講	2					●				
	法律学特講	講	2					●				
	政治学概論Ⅰ（国際政治を含む。）	講	2				●					
	政治学概論Ⅱ	講	2				●					
社会学・経済学	政治学特講	講	2	2					●			
	社会学概論Ⅰ	講	2			●						
	社会学概論Ⅱ	講	2				●					
	社会学特講	講	2				●					
	経済学概論Ⅰ（国際経済を含む。）	講	2			●						
	経済学概論Ⅱ	講	2				●					
哲学・倫理学	経済学特講	講	2	2					●			
	哲学概論Ⅰ	講	2			●						
	哲学概論Ⅱ	講	2				●					
	哲学特講	講	2					●				
	倫理学概論Ⅰ	講	2			●						
	倫理学概論Ⅱ	講	2					●				
中等教科指導法	倫理学特講	講	2	2					●			
	中等教科教育法Ⅰ（社会・地理歴史）	講	2		●							
	中等教科教育法Ⅱ（社会・地理歴史）	講	2			●						
	中等教科教育法Ⅲ（社会・公民）	講	2				●					
卒業研究	中等教科教育法Ⅳ（社会・公民）	講	2	2				●				
	卒業研究		4						■			
	専門演習Ⅰ	演	1					●				
	専門演習Ⅱ	演	1						●			
	専門演習Ⅲ	演	1						●			
専門演習Ⅳ	演	1						●				
最低修得単位				46	14						専門演習Ⅲ・Ⅳについては指導教員の指示に従うこと。	
				60単位								

中学校・高等学校免許を取得するための必修科目は、選択科目はで表示している。（詳細は P. 66 及び P. 67 参照）
講・演は講義と演習の組み合わせ科目を表す。

3-2. 社会専修 教育の基礎的理解科目等

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
					必修	選択	1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2	2	4	●	●				
	教師論	講	2	2		●					
	教育の社会制度論	講	2	2			●	●			
	教育社会学	講	2					●			
	教育行政学	講	2					●			
	教育心理学	講	2	2		●	●				
	発達心理学	講	2				●	●			
	特別支援教育基礎	講	2	2				●	●		
	教育課程論	講	2	2				●	●		
道徳、総合的な学習の時間、 生徒指導、教育相談等	道徳教育の指導法	講	2	2			●	●			
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2			●	●			
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2	2			●	●			
	生徒・進路指導論	講	2	2				●	●		
	幼児理解	講	2					●			
	教育相談	講	2	2						●	●
教育実践	幼稚園教育実習（事前事後）	講	1								☆
	幼稚園教育実習	実	4								☆
	小学校教育実習（事前事後）	講	1						☆		
	小学校教育実習	実	4						☆		
	中学校教育実習（事前事後）	講	1						☆		
	中学校教育実習	実	4						☆		
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2								●
最低修得単位				22	4						
				26 単位							

4-1. 数学専修 教科及び指導法に関する科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考	
					必修	選択	1	2	3	4		
初等教科専門科目	初等国語（含書写）	講・演	2	2	必修を除き5単位		●	●				
	初等社会	講	2			●	●					
	初等算数	講	2			●	●					
	初等理科Ⅰ	演	1			●	●					
	初等理科Ⅱ	演	1				●					
	初等生活Ⅰ	講	2			●	●					
	初等生活Ⅱ	演	1				●					
	初等音楽Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等音楽Ⅱ	演	1				●					
	初等図画工作Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等図画工作Ⅱ	演	1				●	●				
	初等家庭Ⅰ	演	1			●	●					
	初等家庭Ⅱ	演	1				●					
	初等体育Ⅰ	演	1	1			●					
初等体育Ⅱ	演	1				●						
初等英語	講	2		●	●			●				
初等教科指導法	初等教科教育法（国語）	講	2	必修を除き6単位			●	●				
	初等教科教育法（社会）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（算数）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（理科）	講	2		●	●						
	初等教科教育法（生活）	講	2				●	●				
	初等教科教育法（音楽）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（図画工作）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（家庭）	講	2					●	●			
	初等教科教育法（体育）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（英語）	講	2				●	●				
保育内容指導法	保育内容総論	演	1	必修の外14単位							●	「保育内容指導法」は、「保育初等教育専修クラス」と、「幼稚園免許取得希望学生用クラス（他専修の学生用）」があるので、注意すること。
	保育内容演習（健康Ⅰ）	演	1			●				●		
	保育内容演習（健康Ⅱ）	演	1								●	
	保育内容演習（人間関係Ⅰ）	演	1			●						
	保育内容演習（人間関係Ⅱ）	演	1						●			
	保育内容演習（環境Ⅰ）	演	1			●						
	保育内容演習（環境Ⅱ）	演	1						●			
	保育内容演習（言葉Ⅰ）	演	1			●						
	保育内容演習（言葉Ⅱ）	演	1						●			
	保育内容演習（表現Ⅰ）	演	1			●						
	保育内容演習（表現Ⅱ）	演	1						●			
	保育内容演習（表現Ⅲ）	演	1						●			
	幼児と健康	演	1		●							
	幼児と言葉	演	1		●							
	幼児と環境	演	1		●	●						
	幼児と人間関係	演	1		●							
	幼児と表現	演	1		●							
	幼児と音楽表現	演	1								●	
	幼児と造形表現	演	1								●	
代数学	代数学序論Ⅰ	講	2	2	必修の外14単位	●						
	代数学序論Ⅱ	講	2				●					
	代数学Ⅰ	講	2					●				
	代数学Ⅱ	講	2						●			
	代数学Ⅲ	講	2							●		
	代数学特論	講	2								●	
幾何学	幾何学序論Ⅰ	講	2	2	必修の外14単位	●						
	幾何学序論Ⅱ	講	2				●					
	幾何学Ⅰ	講	2					●				
	幾何学Ⅱ	講	2						●			
	幾何学Ⅲ	講	2							●		
	幾何学特論	講	2								●	
解析学	位相数学序論	講	2	2	必修の外14単位	●	●					
	解析学序論Ⅰ	講	2			●						
	解析学序論Ⅱ	講	2			●						
	解析学Ⅰ	講	2	2			●					
	解析学Ⅱ	講	2				●					
	解析学Ⅲ	講	2					●				
	位相数学Ⅰ	講	2	2					●			
	位相数学Ⅱ	講	2							●		
	解析学特論	講	2								●	
確率論 統計学	確率・統計学Ⅰ	講	2	2	必修の外14単位			●				
	確率・統計学Ⅱ	講	2					●				
コンピュータ	コンピュータ序論	講	2	2	必修の外14単位			●				
	コンピュータ概論	講	2						●			
	コンピュータ特論	講	2								●	
中等教科 指導法	中等教科教育法Ⅰ（数学）	講	2	2	必修の外14単位	●						
	中等教科教育法Ⅱ（数学）	講	2	2			●					
	中等教科教育法Ⅲ（数学）	講	2					●				
	中等教科教育法Ⅳ（数学）	講	2						●			
卒業研究	卒業研究		4	4	必修の外14単位						■	専門演習Ⅲ・Ⅳについては指導教員の指示に従うこと。
	専門演習Ⅰ	演	1	1					●			
	専門演習Ⅱ	演	1	1						●		
	専門演習Ⅲ	演	1							●		
	専門演習Ⅳ	演	1							●		
最低修得単位				46	14							
				60単位								

中学校・高等学校免許を取得するための必修科目は、選択科目はで表示している。（詳細は P. 68 及び P. 69 を参照）
講・演は講義と演習の組み合わせ科目を表す。

4-2. 数学専修 教育の基礎的理解科目等

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
					必修	選択	1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2	2	4	●	●				
	教師論	講	2	2		●					
	教育の社会制度論	講	2	2			●	●			
	教育社会学	講	2					●			
	教育行政学	講	2					●			
	教育心理学	講	2	2		●	●				
	発達心理学	講	2				●	●			
	特別支援教育基礎	講	2	2				●	●		
	教育課程論	講	2	2				●	●		
道徳、総合的な学習の時間、 生徒指導、教育相談等	道徳教育の指導法	講	2	2			●	●			
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2			●	●			
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2	2			●	●			
	生徒・進路指導論	講	2	2				●	●		
	幼児理解	講	2					●			
	教育相談	講	2	2						●	●
教育実践	幼稚園教育実習（事前事後）	講	1								☆
	幼稚園教育実習	実	4								☆
	小学校教育実習（事前事後）	講	1						☆		
	小学校教育実習	実	4						☆		
	中学校教育実習（事前事後）	講	1						☆		
	中学校教育実習	実	4						☆		
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2								●
最低修得単位				22	4						
				26 単位							

5-1. 理科専修 教科及び指導法に関する科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考	
					必修	選択	1	2	3	4		
初等教科専門科目	初等国語（含書写）	講・演	2	2	必修を除き5単位		●	●				
	初等社会	講	2			●	●					
	初等算数	講	2			●	●					
	初等理科Ⅰ	演	1			●	●					
	初等理科Ⅱ	演	1				●					
	初等生活Ⅰ	講	2			●	●					
	初等生活Ⅱ	演	1				●					
	初等音楽Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等音楽Ⅱ	演	1				●					
	初等図画工作Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等図画工作Ⅱ	演	1				●	●				
	初等家庭Ⅰ	演	1			●	●					
	初等家庭Ⅱ	演	1				●					
	初等体育Ⅰ	演	1	1		●						
	初等体育Ⅱ	演	1					●				
初等英語	講	2		●	●							
初等教科指導法	初等教科教育法（国語）	講	2	必修を除き6単位			●	●				
	初等教科教育法（社会）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（算数）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（理科）	講	2		●	●						
	初等教科教育法（生活）	講	2				●	●				
	初等教科教育法（音楽）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（図画工作）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（家庭）	講	2				●	●				
	初等教科教育法（体育）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（英語）	講	2				●	●				
	保育内容指導法	保育内容総論	演		1	必修の外14単位						●
保育内容演習（健康Ⅰ）		演	1		●							
保育内容演習（健康Ⅱ）		演	1							●		
保育内容演習（人間関係Ⅰ）		演	1		●							
保育内容演習（人間関係Ⅱ）		演	1					●				
保育内容演習（環境Ⅰ）		演	1		●							
保育内容演習（環境Ⅱ）		演	1					●				
保育内容演習（言葉Ⅰ）		演	1		●							
保育内容演習（言葉Ⅱ）		演	1					●				
保育内容演習（表現Ⅰ）		演	1		●							
保育内容演習（表現Ⅱ）		演	1					●				
保育内容演習（表現Ⅲ）		演	1					●				
幼児と健康		演	1		●							
幼児と言葉		演	1		●							
幼児と環境		演	1		●		●					
幼児と人間関係		演	1		●							
幼児と表現		演	1		●							
幼児と音楽表現		演	1							●		
幼児と造形表現		演	1							●		
物理学	物理学Ⅰ	講	2	2	必修の外14単位		●					
	物理学Ⅱ	講	2				●					
	物理学Ⅲ	講	2					●				
	物理学実験Ⅰ	実	1	1			●					
	物理学実験Ⅱ	実	1	1				●				
	物理学実験Ⅲ	実	1							●		
化学	化学Ⅰ	講	2	2		必修の外14単位	●					
	化学Ⅱ	講	2					●				
	化学Ⅲ	講	2						●			
	化学実験Ⅰ	実	1	1				●				
	化学実験Ⅱ	実	1						●			
	化学実験Ⅲ	実	1								●	
生物学	生物学Ⅰ	講	2	2		必修の外14単位	●					
	生物学Ⅱ	講	2					●				
	生物学Ⅲ	講	2						●			
	生物学実験Ⅰ	実	1	1				●				
	生物学実験Ⅱ	実	1						●			
	生物学実験Ⅲ	実	1								●	
地学	地学Ⅰ	講	2	2		必修の外14単位		●				
	地学Ⅱ	講	2				●					
	地学Ⅲ	講	2					●				
	地学実験Ⅰ	実	1	1			●					
	地学実験Ⅱ	実	1	1				●				
	地学実験Ⅲ	実	1							●		
中等教科指導法	中等教科教育法Ⅰ（理科）	講	2	2	必修の外14単位		●					
	中等教科教育法Ⅱ（理科）	講	2	2			●					
	中等教科教育法Ⅲ（理科）	講	2				●					
	中等教科教育法Ⅳ（理科）	講	2					●				
卒業研究	卒業研究		4	4	必修の外14単位					■		
	専門演習Ⅰ	演	1	1				●				
	専門演習Ⅱ	演	1	1					●			
	専門演習Ⅲ	演	1						●			
	専門演習Ⅳ	演	1							●		
最低修得単位				46	14						専門演習Ⅲ・Ⅳについては指導教員の指示に従うこと。	
				60単位								

中学校・高等学校免許を取得するための必修科目は 、選択科目は で表示している。（詳細は P. 70 及び P. 71 を参照）
講・演は講義と演習の組み合わせ科目を表す。

5-2. 理科専修 教育の基礎的理解科目等

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2	2	4	●	●			
	教師論	講	2	2		●				
	教育の社会制度論	講	2	2			●	●		
	教育社会学	講	2					●		
	教育行政学	講	2					●		
	教育心理学	講	2	2		●	●			
	発達心理学	講	2				●	●		
	特別支援教育基礎	講	2	2				●	●	
	教育課程論	講	2	2				●	●	
道徳、総合的な学習の時間、 生徒指導、教育相談等	道徳教育の指導法	講	2	2			●	●		
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2			●	●		
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2	2			●	●		
	生徒・進路指導論	講	2	2				●	●	
	幼児理解	講	2					●		
	教育相談	講	2	2						● ●
教育実践	幼稚園教育実習（事前事後）	講	1							☆
	幼稚園教育実習	実	4							☆
	小学校教育実習（事前事後）	講	1						☆	
	小学校教育実習	実	4					☆		
	中学校教育実習（事前事後）	講	1					☆		
	中学校教育実習	実	4					☆		
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2						●	
最低修得単位				22	4					
				26 単位						

6-1. 音楽専修 教科及び指導法に関する科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考	
					必修	選択	1	2	3	4		
初等教科専門科目	初等国語（含書写）	講・演	2	2	必修を除き5単位		●	●				
	初等社会	講	2			●	●					
	初等算数	講	2			●	●					
	初等理科Ⅰ	演	1			●	●					
	初等理科Ⅱ	演	1				●					
	初等生活Ⅰ	講	2			●	●					
	初等生活Ⅱ	演	1				●					
	初等音楽Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等音楽Ⅱ	演	1				●					
	初等図画工作Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等図画工作Ⅱ	演	1				●	●				
	初等家庭Ⅰ	演	1			●	●					
	初等家庭Ⅱ	演	1				●					
	初等体育Ⅰ	演	1	1		●						
初等体育Ⅱ	演	1					●					
初等英語	講	2			●	●						
初等教科指導法	初等教科教育法（国語）	講	2	必修を除き6単位			●	●				
	初等教科教育法（社会）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（算数）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（理科）	講	2		●	●						
	初等教科教育法（生活）	講	2					●	●			
	初等教科教育法（音楽）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（図画工作）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（家庭）	講	2					●	●			
	初等教科教育法（体育）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（英語）	講	2				●	●				
保育内容指導法	保育内容総論	演	1	必修の外14単位						●	「保育内容指導法」は、「保育初等教育専修クラス」と、「幼稚園免許取得希望学生用クラス（他専修の学生用）」があるので、注意すること。	
	保育内容演習（健康Ⅰ）	演	1			●				●		
	保育内容演習（健康Ⅱ）	演	1									
	保育内容演習（人間関係Ⅰ）	演	1		●							
	保育内容演習（人間関係Ⅱ）	演	1					●				
	保育内容演習（環境Ⅰ）	演	1			●						
	保育内容演習（環境Ⅱ）	演	1					●				
	保育内容演習（言葉Ⅰ）	演	1		●							
	保育内容演習（言葉Ⅱ）	演	1					●				
	保育内容演習（表現Ⅰ）	演	1		●							
	保育内容演習（表現Ⅱ）	演	1					●				
	保育内容演習（表現Ⅲ）	演	1					●				
	幼児と健康	演	1		●							
	幼児と言葉	演	1		●							
	幼児と環境	演	1		●	●						
	幼児と人間関係	演	1		●							
	幼児と表現	演	1		●							
ソルフェージュ	ソルフェージュ	実	1	1		●				●		
声楽	声楽Ⅰ（日本伝統歌唱法基礎を含む。）	実	1	1	●							
	声楽Ⅱ	実	1		●							
	声楽Ⅲ	実	1			●						
	声楽Ⅳ	実	1				●					
	合唱Ⅰ	実	1	1				●				
器楽	鍵盤楽器演奏Ⅰ（伴奏法を含む。）	実	1	1		●				●		
	鍵盤楽器演奏Ⅱ	実	1			●						
	鍵盤楽器演奏Ⅲ	実	1				●					
	鍵盤楽器演奏Ⅳ	実	1					●				
	器楽演奏Ⅰ	実	1	1			●					
	器楽演奏Ⅱ	実	1				●					
	器楽演奏Ⅲ	実	1					●		●		
	和楽器奏法	実	1	1				●				
	管弦打楽器概論	講	2			●						
	合奏Ⅰ	実	1	1				●				
指揮法	合奏Ⅱ	実	1							●		
	指揮法Ⅰ	実	1	1			●					
音楽理論・音楽史・作曲法	指揮法Ⅱ	実	1					●				
	音楽理論Ⅰ	講	2	2	●							
	音楽理論Ⅱ	講	2		●							
	作曲法（編曲法を含む。）	講	2	2		●						
	音楽文化史Ⅰ（日本の伝統音楽及び民族音楽を含む。）	講	2	2			●					
中等教科指導法	音楽文化史Ⅱ	講	2							●		
	中等教科教育法Ⅰ（音楽）	講	2	2	●							
	中等教科教育法Ⅱ（音楽）	講	2	2		●						
	中等教科教育法Ⅲ（音楽）	講	2				●					
卒業研究	中等教科教育法Ⅳ（音楽）	講	2					●				
	卒業研究		4	4						■		
	専門演習Ⅰ	演	1	1				●				
	専門演習Ⅱ	演	1	1					●			
	専門演習Ⅲ	演	1						●			
専門演習Ⅳ	演	1							●			
最低修得単位				46	14						専門演習Ⅲ・Ⅳについては指導教員の指示に従うこと。	
				60単位								

中学校・高等学校免許を取得するための必修科目は 、選択科目は で表示している。（詳細は P. 72 及び P. 73 を参照）
講・演は講義と演習の組み合わせ科目を表す。

6-2. 音楽専修 教育の基礎的理解科目等

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位 必修 選択	開講年次				備考
						1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2	2	4	● ●				
	教師論	講	2	2		●				
	教育の社会制度論	講	2	2			● ●			
	教育社会学	講	2					●		
	教育行政学	講	2					●		
	教育心理学	講	2	2		● ●				
	発達心理学	講	2				● ●			
	特別支援教育基礎	講	2	2				● ●		
	教育課程論	講	2	2				● ●		
道徳、総合的な学習の時間、 生徒指導、教育相談等	道徳教育の指導法	講	2	2			● ●			
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2			● ●			
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2	2			● ●			
	生徒・進路指導論	講	2	2				● ●		
	幼児理解	講	2					●		
	教育相談	講	2	2					● ●	
教育実践	幼稚園教育実習（事前事後）	講	1						☆	
	幼稚園教育実習	実	4						☆	
	小学校教育実習（事前事後）	講	1					☆		
	小学校教育実習	実	4					☆		
	中学校教育実習（事前事後）	講	1					☆		
	中学校教育実習	実	4					☆		
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2						●	
最低修得単位				22	4					
				26 単位						

7-1. 体育専修 教科及び指導法に関する科目

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
初等教科専門科目	初等国語（含書写）	講・演	2	2		●	●			
	初等社会	講	2			●	●			
	初等算数	講	2			●	●			
	初等理科Ⅰ	演	1			●	●			
	初等理科Ⅱ	演	1				●			
	初等生活Ⅰ	講	2			●	●			
	初等生活Ⅱ	演	1				●			
	初等音楽Ⅰ	演	1	1		●	●			
	初等音楽Ⅱ	演	1				●			
	初等図画工作Ⅰ	演	1	1		●	●			
	初等図画工作Ⅱ	演	1				●	●		
	初等家庭Ⅰ	演	1			●	●			
	初等家庭Ⅱ	演	1				●			
	初等体育Ⅰ	演	1	1			●			
	初等体育Ⅱ	演	1					●		
	初等英語	講	2			●	●			
初等教科指導法	初等教科教育法（国語）	講	2				●	●		
	初等教科教育法（社会）	講	2				●	●		
	初等教科教育法（算数）	講	2				●	●		
	初等教科教育法（理科）	講	2			●	●			
	初等教科教育法（生活）	講	2					●	●	
	初等教科教育法（音楽）	講	2	2			●	●		
	初等教科教育法（図画工作）	講	2	2			●	●		
	初等教科教育法（家庭）	講	2					●	●	
	初等教科教育法（体育）	講	2	2			●	●		
	初等教科教育法（英語）	講	2				●	●		
保育内容指導法	保育内容総論	演	1						●	
	保育内容演習（健康Ⅰ）	演	1				●			
	保育内容演習（健康Ⅱ）	演	1						●	
	保育内容演習（人間関係Ⅰ）	演	1			●				
	保育内容演習（人間関係Ⅱ）	演	1					●		
	保育内容演習（環境Ⅰ）	演	1				●			
	保育内容演習（環境Ⅱ）	演	1					●		
	保育内容演習（言葉Ⅰ）	演	1			●				
	保育内容演習（言葉Ⅱ）	演	1					●		
	保育内容演習（表現Ⅰ）	演	1			●				
	保育内容演習（表現Ⅱ）	演	1					●		
	保育内容演習（表現Ⅲ）	演	1					●		
	幼児と健康	演	1			●				
	幼児と言葉	演	1			●				
	幼児と環境	演	1				●			
	幼児と人間関係	演	1			●				
	幼児と表現	演	1			●				
	幼児と音楽表現	演	1						●	
	幼児と造形表現	演	1						●	
体育実技	中等体育実技（体づくり運動）	実	1	1		●				
	中等体育実技（陸上競技）	実	1	1			●			
	中等体育実技（ゴール型）	実	1	1				●		
	中等体育実技（ベースボール型）	実	1	1			●			
	中等体育実技（ネット型）	実	1	1			●			
	中等体育実技（器械運動）	実	1	1				●		
	中等体育実技（スキー）	実	1			●				
	中等体育実技（野外活動）	実	1				●			
	中等体育実技（剣道）	実	1	1			●			
	中等体育実技（柔道）	実	1	1				●		
	中等体育実技（ダンス）	実	1	1			●			
	中等体育実技（水泳）	実	1	1		●				
	体育原理	講	2	2		●				
	体育心理学	講	2	2		●				
体育原理	体育経営管理学	講	2	2					●	
	体育社会学	講	2	2					●	
	運動学Ⅰ（運動方法学を含む。）	講	2	2			●			
	運動学Ⅱ	講	2	2				●		
生理学	生理学Ⅰ（運動生理学を含む。）	講	2	2			●			
	生理学Ⅱ	講	2	2				●		
衛生学	衛生学・公衆衛生学	講	2	2				●		
	学校保健Ⅰ（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	講	2	2			●			
学校保健	学校保健Ⅱ	講	2	2			●			
	中等教科教育法Ⅰ（保健体育）	講	2	2		●				
中等教科指導法	中等教科教育法Ⅱ（保健体育）	講	2	2			●			
	中等教科教育法Ⅲ（保健体育）	講	2				●			
	中等教科教育法Ⅳ（保健体育）	講	2					●		
	卒業研究		4	4					■	
卒業研究	専門演習Ⅰ	演	1	1				●		
	専門演習Ⅱ	演	1	1					●	
	専門演習Ⅲ	演	1						●	
	専門演習Ⅳ	演	1						●	
最低修得単位				54	6					
				60単位						

「保育内容指導法」は、「保育初等教育専修クラス」と、「幼稚園免許取得希望学生用クラス（他専修の学生用）」があるので、注意すること。

専門演習Ⅲ・Ⅳについては指導教員の指示に従うこと。

中学校・高等学校免許を取得するための必修科目は、選択科目は、で表示している。（詳細は P. 74 及び P. 75 を参照）
講・演は講義と演習の組み合わせ科目を表す。

7-2. 体育専修 教育の基礎的理解科目等

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位 必修 選択	開講年次				備考
						1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2	2	4	●	●			
	教師論	講	2	2		●				
	教育の社会制度論	講	2	2			●	●		
	教育社会学	講	2					●		
	教育行政学	講	2					●		
	教育心理学	講	2	2		●	●			
	発達心理学	講	2				●	●		
	特別支援教育基礎	講	2	2				●	●	
	教育課程論	講	2	2				●	●	
道徳、総合的な学習の時間、 生徒指導、教育相談等	道徳教育の指導法	講	2	2			●	●		
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2			●	●		
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2	2			●	●		
	生徒・進路指導論	講	2	2				●	●	
	幼児理解	講	2					●		
	教育相談	講	2	2						● ●
教育実践	幼稚園教育実習（事前事後）	講	1							☆
	幼稚園教育実習	実	4							☆
	小学校教育実習（事前事後）	講	1					☆		
	小学校教育実習	実	4				☆			
	中学校教育実習（事前事後）	講	1				☆			
	中学校教育実習	実	4				☆			
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2						●	
最低修得単位				22	4					
				26 単位						

8-1. 英語専修 教科及び指導法に関する科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考	
					必修	選択	1	2	3	4		
初等教科専門科目	初等国語（含書写）	講・演	2	2	必修を除き5単位		●	●				
	初等社会	講	2			●	●					
	初等算数	講	2			●	●					
	初等理科Ⅰ	演	1			●	●					
	初等理科Ⅱ	演	1				●					
	初等生活Ⅰ	講	2			●	●					
	初等生活Ⅱ	演	1				●					
	初等音楽Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等音楽Ⅱ	演	1				●					
	初等図画工作Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等図画工作Ⅱ	演	1				●	●				
	初等家庭Ⅰ	演	1			●	●					
	初等家庭Ⅱ	演	1				●					
	初等体育Ⅰ	演	1	1		●						
初等体育Ⅱ	演	1				●						
初等英語	講	2			●	●						
初等教科指導法	初等教科教育法（国語）	講	2	必修を除き6単位			●	●				
	初等教科教育法（社会）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（算数）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（理科）	講	2		●	●						
	初等教科教育法（生活）	講	2				●	●				
	初等教科教育法（音楽）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（図画工作）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（家庭）	講	2					●	●			
	初等教科教育法（体育）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（英語）	講	2				●	●				
保育内容指導法	保育内容総論	演	1	必修の外14単位						●	「保育内容指導法」は、「保育初等教育専修クラス」と、「幼稚園免許取得希望学生用クラス（他専修の学生用）」があるので、注意すること。	
	保育内容演習（健康Ⅰ）	演	1			●				●		
	保育内容演習（健康Ⅱ）	演	1									
	保育内容演習（人間関係Ⅰ）	演	1			●						
	保育内容演習（人間関係Ⅱ）	演	1						●			
	保育内容演習（環境Ⅰ）	演	1				●					
	保育内容演習（環境Ⅱ）	演	1						●			
	保育内容演習（言葉Ⅰ）	演	1			●						
	保育内容演習（言葉Ⅱ）	演	1						●			
	保育内容演習（表現Ⅰ）	演	1			●						
	保育内容演習（表現Ⅱ）	演	1						●			
	保育内容演習（表現Ⅲ）	演	1						●			
	幼児と健康	演	1		●							
	幼児と言葉	演	1		●							
	幼児と環境	演	1		●	●						
	幼児と人間関係	演	1		●							
	幼児と表現	演	1		●							
	幼児と音楽表現	演	1							●		
幼児と造形表現	演	1						●				
英語学	英語学概論Ⅰ	講	2	2	●						必修の外14単位	
	英語学概論Ⅱ	講	2		●							
	英語教育学概論	講	2	2	●							
	第二言語習得論	講	2				●					
	英文法概説Ⅰ	講	2			●						
英文法概説Ⅱ	講	2				●						
英語学演習Ⅰ	演	1							●			
英語学演習Ⅱ	演	1							●			
英語文学	英語文学概論Ⅰ	講	2	2	●							
	英語文学概論Ⅱ	講	2				●					
	英語文学概論Ⅲ	講	2					●				
	英語文学概論Ⅳ	講	2					●				
英語コミュニケーション	英語コミュニケーション論	講	2	2	●							
	Communicative EnglishⅠ	演	1	1	●							
	Communicative EnglishⅡ	演	1	1		●						
	Intensive ListeningⅠ	演	1			●						
	Intensive ListeningⅡ	演	1				●					
	Interactive ReadingⅠ	演	1	1				●				
	Interactive ReadingⅡ	演	1	1					●			
	Academic Writing	演	1							●		
	Advanced Communicative EnglishⅠ	演	1			●						
	Advanced Communicative EnglishⅡ	演	1				●					
Academic Presentation	演	1							●			
異文化理解	英語圏の文化と社会Ⅰ	講	2	2		●						
	英語圏の文化と社会Ⅱ	講	2				●					
	英語圏の文化と社会Ⅲ	講	2					●				
中等教科指導法	中等教科教育法Ⅰ（英語）	講	2	2		●						
	中等教科教育法Ⅱ（英語）	講	2	2			●					
	中等教科教育法Ⅲ（英語）	講	2					●				
	中等教科教育法Ⅳ（英語）	講	2						●			
卒業研究	卒業研究		4	4						■	専門演習Ⅲ・Ⅳについては指導教員の指示に従うこと。	
	専門演習Ⅰ	演	1	1				●				
	専門演習Ⅱ	演	1	1					●			
	専門演習Ⅲ	演	1						●			
	専門演習Ⅳ	演	1						●			
最低修得単位				46	14							
				60単位								

中学校・高等学校免許を取得するための必修科目は、選択科目はで表示している。（詳細は P. 76 及び P. 77 を参照）
講・演は講義と演習の組み合わせ科目を表す。

8－2．英語専修 教育の基礎的理解科目等

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位 必修 選択	開講年次				備考
						1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2	2	4	● ●				
	教師論	講	2	2		●				
	教育の社会制度論	講	2	2			● ●			
	教育社会学	講	2					●		
	教育行政学	講	2					●		
	教育心理学	講	2	2		● ●				
	発達心理学	講	2				● ●			
	特別支援教育基礎	講	2	2				● ●		
	教育課程論	講	2	2				● ●		
道徳、総合的な学習の時間、 生徒指導、教育相談等	道徳教育の指導法	講	2	2			● ●			
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2			● ●			
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2	2			● ●			
	生徒・進路指導論	講	2	2				● ●		
	幼児理解	講	2					●		
	教育相談	講	2	2					● ●	
教育実践	幼稚園教育実習（事前事後）	講	1						☆	
	幼稚園教育実習	実	4						☆	
	小学校教育実習（事前事後）	講	1					☆		
	小学校教育実習	実	4				☆			
	中学校教育実習（事前事後）	講	1				☆			
	中学校教育実習	実	4				☆			
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2					●		
最低修得単位				22	4					
				26 単位						

9-1. 保育初等教育専修 教科及び指導法に関する科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考	
					必修	選択	1	2	3	4		
初等教科専門科目	初等国語（含書写）	講・演	2	2	必修を除き5単位		●	●				
	初等社会	講	2			●	●					
	初等算数	講	2			●	●					
	初等理科Ⅰ	演	1			●	●					
	初等理科Ⅱ	演	1				●					
	初等生活Ⅰ	講	2			●	●					
	初等生活Ⅱ	演	1					●				
	初等音楽Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等音楽Ⅱ	演	1				●					
	初等図画工作Ⅰ	演	1	1		●	●					
	初等図画工作Ⅱ	演	1				●	●				
	初等家庭Ⅰ	演	1			●	●					
	初等家庭Ⅱ	演	1				●					
	初等体育Ⅰ	演	1	1			●					
初等体育Ⅱ	演	1					●					
初等英語	講	2		●	●							
初等教科指導法	初等教科教育法（国語）	講	2	必修を除き6単位			●	●				
	初等教科教育法（社会）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（算数）	講	2			●	●					
	初等教科教育法（理科）	講	2		●	●						
	初等教科教育法（生活）	講	2					●	●			
	初等教科教育法（音楽）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（図画工作）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（家庭）	講	2					●	●			
	初等教科教育法（体育）	講	2		2		●	●				
	初等教科教育法（英語）	講	2				●	●				
保育内容指導法	保育内容総論	演	1	6						●	「保育内容指導法」は、「保育初等教育専修クラス」と、「他専修幼稚園免許取得希望学生用クラス（他専修の学生用）」があるので、注意すること。	
	保育内容演習（健康Ⅰ）	演	1			●				●		
	保育内容演習（健康Ⅱ）	演	1									
	保育内容演習（人間関係Ⅰ）	演	1		●							
	保育内容演習（人間関係Ⅱ）	演	1					●				
	保育内容演習（環境Ⅰ）	演	1			●						
	保育内容演習（環境Ⅱ）	演	1					●				
	保育内容演習（言葉Ⅰ）	演	1		●							
	保育内容演習（言葉Ⅱ）	演	1					●				
	保育内容演習（表現Ⅰ）	演	1		●							
	保育内容演習（表現Ⅱ）	演	1				●					
	保育内容演習（表現Ⅲ）	演	1				●					
	幼児と健康	演	1	1	●							
	幼児と言葉	演	1	1	●							
	幼児と環境	演	1	1	●	●						
	幼児と人間関係	演	1	1	●							
	幼児と表現	演	1	1	●							
幼児と音楽表現	演	1						●				
幼児と造形表現	演	1						●				
保育初等教育専修教科科目	子ども家庭支援論	講	2	必修の外他9単位						●	専門演習Ⅲ・Ⅳについては指導教員の指示に従うこと。	
	子ども家庭福祉Ⅰ	講	2		2	●						
	子ども家庭福祉Ⅱ	講	2							●		
	社会福祉	講	2		2	●						
	保育原理	講	2		2	●						
	保育者論	講	2							●		
	社会的養護Ⅰ	講	2				●					
	社会的養護Ⅱ	演	1					●				
	子ども家庭支援の心理学	講	2					●				
	子どもの理解と援助	演	1					●				
	子どもの保健	講	2		2		●					
	子どもの健康と安全	演	1					●				
	子どもの食と栄養Ⅰ	演	1		1			●				
	子どもの食と栄養Ⅱ	演	1		1					●		
	保育の計画と評価	講	2					●				
	乳児保育Ⅰ	講	2				●					
	乳児保育Ⅱ	演	1					●				
	障害児保育Ⅰ	演	1					●				
	障害児保育Ⅱ	演	1							●		
	子育て支援	演	1							●		
	児童文化	演	1			●						
	器楽演習Ⅰ	演	1				●					
	器楽演習Ⅱ	演	1									●
卒業研究	卒業研究		4	4						■		
	専門演習Ⅰ	演	1	1				●				
	専門演習Ⅱ	演	1	1					●			
	専門演習Ⅲ	演	1							●		
	専門演習Ⅳ	演	1							●		
最低修得単位				49	9							
				58単位								

保育士証を取得するための必修科目は 、選択科目は で表示している。（詳細は P. 90 及び P. 91 を参照）
講・演は講義と演習の組み合わせ科目を表す。

9-2. 保育初等教育専修 教育の基礎的理解科目等

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2	2	2	●●				
	教師論	講	2	2		●				
	教育の社会制度論	講	2	2			●●			
	教育社会学	講	2					●		
	教育行政学	講	2					●		
	教育心理学	講	2	2		●●				
	発達心理学	講	2				●●			
	特別支援教育基礎	講	2	2				●●		
	教育課程論	講	2	2				●●		
道徳、総合的な学習の時間、 生徒指導、教育相談等	道徳教育の指導法	講	2	2			●●			
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2			●●			
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2	2			●●			
	生徒・進路指導論	講	2	2				●●		
	幼児理解	講	2	2				●		
	教育相談	講	2	2					●●	
教育実践	幼稚園教育実習（事前事後）	講	1					☆		
	幼稚園教育実習	実	4					☆		
	小学校教育実習（事前事後）	講	1					☆		
	小学校教育実習	実	4					☆		
	保育実習Ⅰ（保育所）	実	2				☆			
	保育実習Ⅰ（児童福祉施設等）	実	2				☆			
	保育実習指導Ⅰ	演	2				☆			
	保育実習Ⅱ（保育所）	実	2						☆	
	保育実習指導Ⅱ	演	1						☆	
	保育実習Ⅲ（児童福祉施設等）	実	2						☆	
	保育実習指導Ⅲ	演	1						☆	
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2						●	
最低修得単位				24	2					
				26 単位						

保育士証を取得するための必修科目は 、選択科目は で表示している。（詳細は P. 90 及び P. 91 を参照）
講・演は講義と演習の組み合わせ科目を表す。

10-1. 特別支援教育専修 教科及び指導法に関する科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位 必修	選択	開講年次				備考
							1	2	3	4	
初等教科専門科目	初等国語（含書写）	講・演	2	2	必修を除き5単位		● ●				
	初等社会	講	2			● ●					
	初等算数	講	2			● ●					
	初等理科Ⅰ	演	1			● ●					
	初等理科Ⅱ	演	1				●				
	初等生活Ⅰ	講	2			● ●					
	初等生活Ⅱ	演	1				●				
	初等音楽Ⅰ	演	1	1		● ●					
	初等音楽Ⅱ	演	1				●				
	初等図画工作Ⅰ	演	1	1		● ●					
	初等図画工作Ⅱ	演	1				● ●				
	初等家庭Ⅰ	演	1			● ●					
	初等家庭Ⅱ	演	1				●				
	初等体育Ⅰ	演	1	1		●					
	初等体育Ⅱ	演	1					●			
	初等英語	講	2			● ●					
初等教科指導法	初等教科教育法（国語）	講	2	必修を除き6単位			● ●				
	初等教科教育法（社会）	講	2			● ●					
	初等教科教育法（算数）	講	2			● ●					
	初等教科教育法（理科）	講	2		● ●						
	初等教科教育法（生活）	講	2					● ●			
	初等教科教育法（音楽）	講	2		2		● ●				
	初等教科教育法（図画工作）	講	2		2		● ●				
	初等教科教育法（家庭）	講	2						● ●		
	初等教科教育法（体育）	講	2		2		● ●				
	初等教科教育法（英語）	講	2				● ●				
特別支援教育専修教科科目	特別支援教育総論	講	2	2	必修を除く16単位を選択必修	●					
	知的障害者の心理	講	2	2			●				
	知的障害者の生理・病理	講	2	2					●		
	肢体不自由者の心理・生理・病理	講	2	2					●		
	病弱者の心理・生理・病理	講	2	2					●		
	知的障害者の教育Ⅰ	講	2			●					
	知的障害者の教育Ⅱ	講	2						●		
	肢体不自由者の教育	講	2			●					
	病弱者の教育	講	2				●				
	肢体・病弱演習	演	1						●		
	特別支援教育の理論と実践	講・実	1	1				☆			履修は2年後期
	発達障害心理臨床	講	2						●		
	発達アセスメント	講	2							●	
	重複・発達障害者の心理と教育	講	2					●			全8回
	視覚障害者の心理と教育	講	1							●	
	言語・聴覚障害者の心理と教育	講	2							●	
	特別支援教育・看護合同演習	演	1								●
	特別支援学校教育実習（事前事後）	講	1							☆	履修は4年前期
	特別支援学校教育実習	実	2								●
卒業研究	卒業研究		4	4						■	
	専門演習Ⅰ	演	1	1				●			
	専門演習Ⅱ	演	1	1					●		
	専門演習Ⅲ	演	1						●		
	専門演習Ⅳ	演	1							●	
最低修得単位					39	16					
					55単位						

専門演習Ⅲ・Ⅳについては指導教員の指示に従うこと。

特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目は■、選択科目は☆で表示している。（詳細は P. 78 を参照）
講・演は講義と演習の組み合わせ科目、講・実 は講義と実習の組み合わせ科目を表す。

専門演習Ⅲ・Ⅳについては
指導教員の指示に従うこと。

10－2. 特別支援教育専修 教育の基礎的理解科目等

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2	2	4	●	●			
	教師論	講	2	2		●				
	教育の社会制度論	講	2	2			●	●		
	教育社会学	講	2					●		
	教育行政学	講	2					●		
	教育心理学	講	2	2		●	●			
	発達心理学	講	2				●	●		
	特別支援教育基礎	講	2	2				●	●	
	教育課程論	講	2	2				●	●	
道徳、総合的な学習の時間、 生徒指導、教育相談等	道徳教育の指導法	講	2	2			●	●		
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2			●	●		
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2	2			●	●		
	生徒・進路指導論	講	2	2				●	●	
	幼児理解	講	2					●		
	教育相談	講	2	2						●
教育実践	小学校教育実習（事前事後）	講	1						☆	
	小学校教育実習	実	4						☆	
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2							●
最低修得単位				22	4					
				26 単位						

教育学部
教育課程

の科目は公認心理師のための必修科目を表す。(詳細は P. 92 を参照)
講・演は講義と演習の組み合わせ科目を表す。

11－2. 学校心理専修 教育の基礎的理解科目等

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2	2	4	●	●			
	教師論	講	2	2		●				
	教育の社会制度論	講	2	2			●	●		
	教育社会学	講	2					●		
	教育行政学	講	2					●		
	教育心理学	講	2	2		●	●			
	発達心理学	講	2				●	●		
	特別支援教育基礎	講	2	2				●	●	
	教育課程論	講	2	2				●	●	
道徳、総合的な学習の時間、生徒指導、教育相談等	道徳教育の指導法	講	2	2			●	●		
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2	2			●	●		
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2	2			●	●		
	生徒・進路指導論	講	2	2				●	●	
	幼児理解	講	2					●		
	教育相談	講	2	2					●	●
教育実践	小学校教育実習（事前事後）	講	1					☆		
	小学校教育実習	実	4					☆		
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2						●	
最低修得単位				22	4					
				26 単位						

〔自由選択科目〕

開講授業科目		講義 区分	単位数	開講年次				備考
				1	2	3	4	
図書館司書教諭 資格を得るための科目	学校経営と学校図書館	講	2	● ●				
	学校図書館メディアの構成	講	2	● ●				
	学習指導と学校図書館	講	2	● ●				
	読書と豊かな人間性	講	2	● ●				
	情報メディアの活用	講	2	● ●				
浄土真宗本願寺派教師 資格を得るための科目	真宗概論	講	2	● ●				履修を希望する場合は必ず教務課に直接申し出ること。
	真宗史	講	2	● ●				
	仏教概論	講	2	● ●				
	宗門法規	講	2	● ●				
	勤式作法実演	実	1	● ●				
	法話実演	実	1	● ●				
	宗教概説・仏教史	講	1	● ●				
博物館学芸員資格の科目	生涯学習概論	講	2	●				博物館学芸員資格科目は国語専修・社会専修・理科専修の学生のみ履修できる
	博物館概論	講	2		●			
	博物館経営論	講	2		●			
	博物館資料論	講	2			●		
	博物館資料保存論	講	2			●		
	博物館展示論	講	2				●	
	博物館教育論	講	2				●	
	博物館情報・メディア論	講	2		●			
	博物館実習	実	3			● ●		
	考古学	講	2			●		

2026年度 履修要覧

経済情報学部

学部共通事項

教育学部
経済情報学部
看護学部
人文学部

教育学部

経済情報学部

看護学部

人文学部

授業科目

授業科目の体系

卒業要件は、この分類によって指定されます。
具体的な科目名については、教育課程を参照してください。

- 建学の精神に関する科目
- 教養基礎科目（Yawaragi Basis）
- 専門科目

履修上の分類

必修科目	必ず履修しなければならない科目
選択必修科目	指定された科目の中から選択し、所定の単位数を必ず履修しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修できる科目
自由選択科目	単位認定はされるが、卒業要件に含まれない科目

履修上の注意点

- ・在学年次よりも上級年次の授業科目は、履修できません。
- ・既に単位修得した授業科目は、再履修することができません。

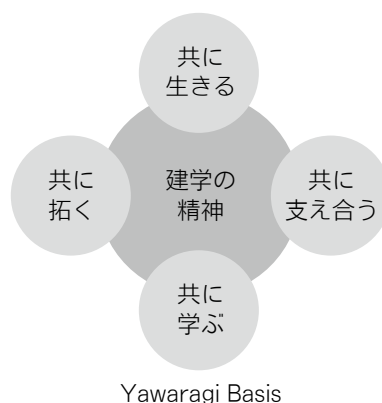
Yawaragi Basisとは

「Yawaragi Basis」とは、本学の建学の精神を根幹とした学部横断型の教養教育です。
本学の建学の精神である仏教精神を具体的にあらわす言葉として、聖徳太子の『十七条憲法』の第一条にある「以和為貴」（和をもって貴しとなす）や「平等」「寛容」「利他」を掲げています。

「以和為貴」の「和」は、「やわらかなところ」であることから、「Yawaragi Basis」と名づけています。

「Yawaragi Basis」では、「共に支えあい 創造し未来を切り拓く力」を身につけます。異なる学部の学生が共に学び、交流し、幅広い知識を身につけて、柔軟性のある思考力を涵養します。

「共に学ぶ」科目
基礎学力、知識、国語力、体力、精神力を身につけます。 基礎セミナー／スポーツ／心理学／歴史学／日本国憲法
「共に拓く」科目
日本の伝統・文化・歴史、異なるものを理解する能力、情報リテラシー、語学力を身につけます。 データサイエンス／外国語科目群／映画学／日本文化論／芸術論
「共に生きる」科目
地球規模の視野、歴史的な視点、多角的な視点で物事を考える力を身につけます。 文学／地理学／数学／生物と環境／岐阜学／現代社会と福祉／統計入門
「共に支え合う」科目
社会との関わりの中で自己を位置づける力を身につけます。 法学／スポーツトレーニング概論／スポーツと健康



単位制

算出方法

大学での教育課程は、単位制となっています。
開講授業科目にはそれぞれの単位数が定められており、その単位を修得するには、科目を履修し、所定の試験等に合格することが必要です。

単位は、授業科目の修得に必要な学修量を数字で表すものです。
本学では、各授業科目の毎週1回当たりの授業時間は90分ですが、これを制度上2時間として計算しています。
授業は前期15週、後期15週の30週が開講されることになっています。各授業科目の単位計算は、科目の種類・性質によって異なり、本学部では次のように定めています。

①講義科目

15時間の授業で1単位となります。
これにより、本学部での毎週1回1セメスター（15週・半年間）の授業で2単位、2セメスター（30週・通年、週2回の場合は15週となり半年）の授業で4単位となります。
ただし、科目によっては、単位数の異なるものもあります。

②演習科目

- ・15時間の授業で1単位となります。
- ・毎週1回1セメスター（15週・半年間）の授業で2単位、1年間の授業で4単位となります。

③教養基礎科目の外国語科目および『基礎セミナーⅠ・Ⅱ』

- ・30時間の授業で1単位となります。
- ・毎週1回1セメスター（15週・半年間）の授業で1単位となります。

④実技・実習

- ・30時間の授業で1単位となります。
- ・毎週1回1セメスター（15週・半年間）の授業で1単位となります。

また、学修量は、上記の授業時間数だけで算定されるものではなく、教室外で自学自習する時間も含むことになっています。1単位の学修時間は、授業時間とその授業のための準備（予習・復習）をする教室外での自学自習時間を合わせた45時間となっています。例えば講義2単位（30時間）の場合、60時間の自学自習時間が必要となります。

なお、学外実習については、別に定めます。

C A P 制とは

半期に履修登録できる単位数に上限を定め、授業科目を適切に履修するための制度です。この上限を超える履修登録はできません。

1単位の学修時間は、授業時間とその授業のための準備（予習・復習）をする教室外での自学自習時間を合わせて45時間となっています。履修した科目に比例して、それぞれに必要な学修時間も増えることとなるため、履修登録できる単位数を制限することで、履修科目について十分な学修時間を確保することができ、また学修した内容を真に身につけることができます。

**履修登録
上限単位数**

前期 25 単位

後期 24 単位

ただし、当該学期の直前の学期のG P Aに基づき、次のとおり単位数の上限を変更して取り扱います。

直前の学期のG P Aが1.5未満の者 22 単位

対象科目

自由選択科目（卒業要件外の単位）を含むすべての科目。

ただし、評価が「認定」「合格」「不合格」となる科目を除く。

卒業要件

卒業資格最低 単位数一覧

卒業するためには休学期間を除き 4 年以上在学し、次の表を充足する単位数の修得が必要です。

		経済情報学科		備考	
		必修	選択		
建学の精神に関する科目		4			
教養基礎 科目 (Yawaragi Basis)	基礎力（基礎セミナー・スポーツ・データサイエンス科目）	6	8	(注) ₁ 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱの外に同一言語のコミュニケーションⅠ・Ⅱまたは英語Ⅰ・Ⅱを履修	
	言葉とコミュニケーション（英語Ⅰ・Ⅱ含む外国語科目）	4(注) ₁			
	人文科学				
	社会科学				
	自然科学				
	複合領域				
合計		22			
専門科目 (合計)		必修	選択必修	選択	(注) ₂ 選択必修は、経済科目※ ₁ から6単位と経営科目※ ₂ から6単位または、情報科目※ ₃ から6単位が必修
		20	12(注) ₂	74	
			86		
		106			
卒業資格最低単位数合計		128			自由選択科目は含まない

「専門演習 I・II」 履修要件

『専門演習 I』『専門演習 II』（必修科目）の履修要件は下記のとおりです。

『専門演習 I』（3 年次開講）：2 年終了時の総修得単位数が 48 単位以上

『専門演習 II』（4 年次開講）：3 年終了時の総修得単位数が 92 単位以上（『専門演習 I』含む）

※自由選択科目は総修得単位数としてカウントされません。

教育課程

(1) 開講年次欄の1・2・3・4は学年を示し、●・■・○の位置が左寄りは前期、右寄りは後期、中央は通年の開講を表します。

●：週1回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目

○：週2回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目

■：週1回開講し、2セメスター（1年）で完結する科目

☆：不定期に開講し、2セメスター（1年）で完結する科目（授業日は別途連絡します）

△：週1回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目のうち、再履修者を対象とした開講科目

前後期両方に●が付いている科目は時間割表（履修の手引き）で指定されたクラスで受講してください。やむを得ない事情により開講期を変更することがあります。開講しない場合もありますので必ずその年度の時間割表を確認してください。

(2) 講義区分欄の「講」は講義科目、「演」は演習科目、「実」は実習・実験・実技科目を表します。

(3) 備考欄に履修上の注意が記載されている場合は、指示に従ってください。

建学の精神に関する科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
建学の精神に 関する科目	必修	宗教学Ⅰ	講	2	必修	選択	1	2	3	4	
		宗教学Ⅱ	講	2	2		●				
					2	2	●				
最低修得単位					4	0					
					4 単位						

教養基礎科目（Yawaragi Basis）

YB 科目群	学則 区分	開講授業科目	講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考	
					必修	選択	1	2	3	4		
共に学ぶ	基礎力	基礎セミナーⅠ	演	1	1		●	○				○は再履修
		基礎セミナーⅡ	演	1	1			●	○			
		スポーツⅠ	実	1	1		●					
		スポーツⅡ	実	1	1			●				
	人文科学	心理学	講	2			●	●				
共に拓く	歴史学	講	2			●	●					
	社会科学	日本国憲法	講	2			●	●				
	基礎力	データサイエンス入門	講	2	2		●					
		データサイエンス基礎	演	1				●				
	言葉とコミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ	演	1	1		●					
		英語コミュニケーションⅡ	演	1	1			●				
		英語Ⅰ	演	1					●			「言葉とコミュニケーション」開講科目のうち、英語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、フランス語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱのいずれかの組み合わせを選択し履修する。
		英語Ⅱ	演	1					●			
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	演	1			●					
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	演	1				●				
		フランス語コミュニケーションⅠ	演	1			●					
		フランス語コミュニケーションⅡ	演	1				●				
		中国語コミュニケーションⅠ	演	1			●					
		中国語コミュニケーションⅡ	演	1				●				
		ドイツ語コミュニケーションⅢ	演	1					●			
		フランス語コミュニケーションⅢ	演	1					●			
		中国語コミュニケーションⅢ	演	1					●			
		外国文化事情ⅠA	演	1						●		
	外国文化事情ⅠB	演	1						●			
	外国文化事情ⅡA	演	1			●						
	外国文化事情ⅡB	演	1			●						
	人文科学	映画学	講	2			●	●				留学時における単位認定
		日本文化論	講	2			●	●				
	複合領域	芸術論	演	1			●	●				
	共に生きる	人文科学	文学	講	2			●	●			
自然科学		地理学	講	2			●	●				
		数学	講	2			●	●				
		生物と環境	講	2			●	●				
複合領域		岐阜学	講	2			●	●				
		現代社会と福祉	講	2			●	●				
統計入門		講	2			●	●					
共に支える	社会科学	法学（国際法を含む。）	講	2			●	●				
	複合領域	スポーツトレーニング概論	講	2			●	●				
		スポーツと健康	講	2			●	●				
最低修得単位					10	8	※人文科学、社会科学、自然科学の分野から、それぞれ最低1科目は履修することが望ましい。					
					18単位							

留学生・帰国生徒に適用

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
教養科目	日本文化事情Ⅰ	講	2			●				※ 1
	日本文化事情Ⅱ	講	2			●				
	日本社会事情Ⅰ	講	2			●				
	日本社会事情Ⅱ	講	2			●				
外国語科目	日本語コミュニケーションⅠ	演	1			●				※ 2
	日本語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
	日本語Ⅰ	演	1			●				
	日本語Ⅱ	演	1			●				

※ 1 4単位まで、教養基礎科目の選択科目として履修できる。

※ 2 2単位を学則区分「言葉とコミュニケーション」科目の「1言語2単位選択必修」として履修できる。加えて2単位を教養基礎科目の選択科目として履修できる。

専門科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考		
					必修	選択	1	2	3	4			
専門科目	共通科目	必修	コンピュータ科学基礎	演	2	2		●					
			ミクロ経済学入門	講	2	2		●					
			マクロ経済学入門	講	2	2			●				
			総合基礎 A	講	2	2		●					
			総合基礎 B	講	2	2		●					
			キャリアデザイン I	講	2	2			●				
		選択	商法	講	2						●		
			会社法	講	2							●	
			民法 I	講	2					●			
			民法 II	講	2						●		
			数理 A（線形代数）	講	2				●				
			数理 B（微分積分）	講	2					●			
			数理 C（確率統計）	講	2						●		
			数理 D（応用数学）	講	2						●		
			政治学概論（国際政治を含む。）	講	2						●		
			社会学概論	講	2						●		
			哲学概論	講	2				●				
			倫理学概論	講	2					●			
			宗教学概論	講	2						●		
			経済情報のための英語 I	演	1					●			
			経済情報のための英語 II	演	1						●		
	専門研究科目	必修	専門演習Ⅰ	演	4	4					■		
			専門演習Ⅱ	演	4	4						■	
		選択	卒業研究	演	4							■	
	学際領域科目	選択	スポーツ科学	講	2				●				
			スポーツビジネス学	講	2						●		
			スポーツデータサイエンス	講	2					●			
			実験経済学Ⅰ	講	2						●		
			実験経済学Ⅱ	講	2							●	
			Eコマース論Ⅰ	講	2				●				
			Eコマース論Ⅱ	講	2					●			
			行動ファイナンス	講	2						●		
			生活経済と情報	講	2				●				
			データ分析	演	2							●	
			グローバルビジネス	講	2						●		
			情報と社会	講	2				●				
シミュレーション			演	2							●		
情報管理			演	2					●				
データサイエンスの数理			演	2						●			
行動科学			講	2				●					
社会生活と心理 A			講	2					●				
社会生活と心理 B			講	2						●			
経済科目	経済の基礎	選択必修	経済統計	講	2	※ ¹ 6 単位必修			●				
			現代経済	講	2				●				
			経済の歴史Ⅰ	講	2			●					
			経済の歴史Ⅱ	講	2				●				
			ミクロ経済学Ⅰ	講	2				●				
			マクロ経済学Ⅰ	講	2				●				
	経済の考え方	選択	ミクロ経済学Ⅱ	講	2				●				
			マクロ経済学Ⅱ	講	2				●				
			ミクロ経済学Ⅲ	講	2						●		
			マクロ経済学Ⅲ	講	2						●		
			行動経済学Ⅰ	講	2			●					
			行動経済学Ⅱ	講	2				●				
			環境経済学Ⅰ	講	2					●			
			環境経済学Ⅱ	講	2						●		

開講授業科目				講義 区分	単位数	履修単位 必修 選択		開講年次				備考
								1	2	3	4	
専門科目	経済科目	経済の考え方	選択	国際経済学Ⅰ	講	2				●		
				国際経済学Ⅱ	講	2					●	
				日本経済論Ⅰ	講	2			●			
				日本経済論Ⅱ	講	2				●		
				地球環境論Ⅰ	講	2		●				
				地球環境論Ⅱ	講	2			●			
				経済の現場から	講	2				●		
				グローバル経済論	講	2				●		
				財政学Ⅰ	講	2					●	
				財政学Ⅱ	講	2						●
				経済史Ⅰ	講	2			●			
				経済史Ⅱ	講	2				●		
		経済の分析	選択	計量経済学Ⅰ	講	2					●	
				計量経済学Ⅱ	講	2						●
				国際金融論	講	2						●
				金融論Ⅰ	講	2			●			
				金融論Ⅱ	講	2				●		
				ファイナンス論Ⅰ	講	2			●			
				ファイナンス論Ⅱ	講	2				●		
				地域経済論Ⅰ	講	2			●			
				地域経済論Ⅱ	講	2				●		
				労働経済学Ⅰ	講	2				●		
				労働経済学Ⅱ	講	2					●	
				地方財政論	講	2						●
	経営科目	選択必修		ベンチャー企業論	講	2			●			
				経営学総論Ⅰ	講	2		●				
				経営学総論Ⅱ	講	2			●			
				経営管理論Ⅰ	講	2				●		
				経営管理論Ⅱ	講	2					●	
				経営戦略入門	講	2			●			
				簿記原理Ⅰ	講	2		●				
				簿記原理Ⅱ	講	2			●			
		選択		経営戦略論	講	2				●		
				事業経営入門	講	2					●	
				事業経営論	講	2						●
				グローバルマネジメント	講	2				●		
				会計学Ⅰ	講	2			●			
				会計学Ⅱ	講	2				●		
				商学概論	講	2			●			
				流通論	講	2				●		
				経営分析Ⅰ	講	2					●	
				経営分析Ⅱ	講	2						●
				マーケティング論	講	2					●	
				マーケティングリサーチ	講	2						●
				アントレプレナーシップ論	講	2		●				
	情報科目	選択必修		情報処理Ⅰ	演	2		●				
				マルチメディアⅠ	演	2		●				
				マルチメディアⅡ	演	2			●			
				AⅠ基礎プログラミングⅠ	演	2			●			
				ウェブプログラミングⅠ	演	2		●				
				ウェブプログラミングⅡ	演	2			●			
		選択		ウェブデザイン	演	2				●		
				情報処理Ⅱ	演	2				●		
				情報処理論	講	2				●		
				AⅠ基礎プログラミングⅡ	演	2					●	
				AⅠ実践演習Ⅰ	演	2						●
				AⅠ実践演習Ⅱ	演	2						●
				ウェブアプリケーション	演	2				●		

開講授業科目				講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考		
						必修	選択	1	2	3	4			
専門科目	情報科目	選択	情報ネットワークⅠ	演	2				●					
			情報ネットワークⅡ	演	2						●			
			コンピュータシステム	演	2						●			
			データベース	演	2					●				
	キャリア教育科目	選択	社会人基礎力養成	講	2				●					
			キャリアデザインⅡ	講	2					●				
			キャリアデザインⅢ	講	2					●				
			キャリアデザインⅣ	講	2						●			
			キャリアデザインⅤ	講	2						●			
			キャリアデザインⅥ	講	2							●		
			キャリアデザインⅦ（海外）	実	1					●				
			就業体験（講義）	講	2					●				
			就業体験Ⅰ（実習）	実	1						☆			
			就業体験Ⅱ（実習）	実	2							☆		
			英語実務	講	2			●	●					
			簿記実務	講	2			●	●					
			商業実務	講	2			●	●					
			情報実務	講	2			●	●					
			統計実務	講	2			●	●					
			最低修得単位						32	74				
						106								

専門科目の必修 32 単位は、共通科目の必修 20 単位の外に、経済科目※₁から 6 単位と、経営科目※₂から 6 単位または情報科目※₃から 6 単位が必修。

※『就業体験（講義）』、『就業体験Ⅰ・Ⅱ（実習）』の成績評価は「合格」または「不合格」です。また、GPAに算入されません。

自由選択科目（卒業認定単位に算入されない）

（１）教職課程科目

本学開講授業科目			講義 区分	単位数	開講年次				備考
					1	2	3	4	
教科に関する 専門的事項	情報と職業 ※ 1	講	2			●		※ 1（情報）を取得する場合 ※ 2（商業）を取得する場合 ※ 3（公民）を取得する場合 【注意事項】 ・教職科目は、卒業認定 単位に算入されない。 ・開講期は授業時間割表 （履修の手引き）を参 照すること。 ・教育職員免許状に関す るページを参照するこ と。	
	職業指導 ※ 2	講	4			■			
各教科の 指導法	中等教科教育法Ⅲ（社会・公民）※ 3	講	2			●			
	中等教科教育法Ⅳ（社会・公民）※ 3	講	2			●			
	中等教科教育法Ⅰ（商 業）※ 1	講	2			●			
	中等教科教育法Ⅱ（商 業）※ 1	講	2			●			
	中等教科教育法Ⅰ（情 報）※ 2	講	2			●			
	中等教科教育法Ⅱ（情 報）※ 2	講	2			●			
教育の基礎 的理解に関 する科目	教育基礎論	講	2	●					
	教師論	講	2	●					
	教育の社会制度論	講	2		●				
	教育心理学	講	2	●					
	特別支援教育基礎	講	2			●			
	教育課程論	講	2			●			
道徳、総合 的な学習の 時間等の指 導法及び生 徒指導、教 育相談等に 関する科目	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2				●		
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2			●			
	生徒・進路指導論	講	2		●				
	教育相談	講	2			●			
教育実践に 関する科目	高等学校教育実習（事前事後）	講	1				☆		
	高等学校教育実習	実	2				☆		
	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2				●		

(2) その他資格科目

本学開講授業科目		講義 区分	単位数	開講年次				備考
				1	2	3	4	
図書館司書教諭資格 を得るための科目	学校経営と学校図書館	講	2	●	●			
	学校図書館メディアの構成	講	2	●	●			
	学習指導と学校図書館	講	2	●	●			
	読書と豊かな人間性	講	2	●	●			
	情報メディアの活用	講	2	●	●			
浄土真宗本願寺派教師 資格を得るための科目	真宗概論	講	2	●	●			
	真宗史	講	2	●	●			
	仏教概論	講	2	●	●			
	宗門法規	講	2	●	●			
	勤式作法実演	実	1	●	●			
	法話実演	実	1	●	●			
	宗教概説・仏教史	講	1	●	●			

2026年度 履修要覧

看護学部

学部共通事項

教育学部
経済情報学部
看護学部
人文学部

教育学部

経済情報学部

看護学部

人文学部

授業科目

授業科目の体系

卒業要件は、この分類によって指定されます。
具体的な科目名については、教育課程を参照してください。

- 建学の精神に関する科目
- 教養基礎科目 (Yawaragi Basis)
- 専門基礎科目
- 専門科目

履修上の分類

必修科目	必ず履修しなければならない科目
選択必修科目	指定された科目の中から選択し、所定の単位数を必ず履修しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修できる科目
自由選択科目	単位認定はされるが、卒業要件に含まれない科目

履修上の注意点

- ・在学年次よりも上級年次の授業科目は、履修できません。
- ・既に単位修得した授業科目は、再履修することができません。

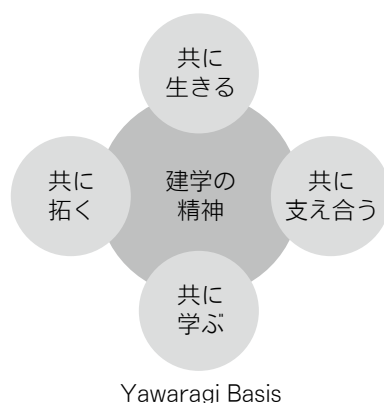
Yawaragi Basisとは

「Yawaragi Basis」とは、本学の建学の精神を根幹とした学部横断型の教養教育です。
本学の建学の精神である仏教精神を具体的にあらわす言葉として、聖徳太子の『十七条憲法』の第一条にある「以和為貴」（和をもって貴しとなす）や「平等」「寛容」「利他」を掲げています。

「以和為貴」の「和」は、「やわらかなこころ」であることから、「Yawaragi Basis」と名づけています。

「Yawaragi Basis」では、「共に支えあい 創造し未来を切り拓く力」を身につけます。異なる学部の学生が共に学び、交流し、幅広い知識を身につけて、柔軟性のある思考力を涵養します。

「共に学ぶ」科目
基礎学力、知識、国語力、体力、精神力を身につけます。 基礎セミナー／スポーツ／心理学概論／歴史学／日本国憲法／キャリアプラン
「共に拓く」科目
日本の伝統・文化・歴史、異なるものを理解する能力、情報リテラシー、語学力を身につけます。 ICT基礎／データサイエンス／外国語科目群／映画学／日本文化論／異文化論／芸術論
「共に生きる」科目
地球規模の視野、歴史的な視点、多角的な視点で物事を考える力を身につけます。 ジェンダー論／哲学／経済学／現代環境科学／数学／天文学／生物と環境／現代社会と福祉／岐阜学
「共に支え合う」科目
社会との関わりの中で自己を位置づける力を身につけます。 災害と危機管理／家族と社会保障／レクリエーション／食生活論／健康科学／健康科学概論／スポーツトレーニング概論



単位制

算出方法

大学での教育課程は単位制となっています。
開講授業科目には、それぞれの単位数が定められており、その単位を修得するには、科目の履修をし、所定の試験等に合格する必要があります。

単位は、授業科目の修得に必要な学修量を数字で表すものです。
本学では、各授業科目の毎週1回当たりの授業時間は90分ですが、これを制度上2時間として計算しています。
授業は前期15週、後期15週の30週が開講されることになっています。
各授業科目の単位計算は、科目の種類・性質によって異なり、本学部では次のように定めています。

①講義科目

15時間の授業で1単位となります。
これにより、本学部での毎週1回（半期）の授業で2単位、週1回（通年）の場合は4単位となります。ただし、科目によっては、単位数の異なるものもあります。

②演習科目

30時間の授業で1単位となります。ただし、科目によって単位数の異なるものもあります。
15時間で1単位の科目 専門基礎科目「笑い与健康」、「日本手話」、「看護英語コミュニケーション」
専門科目「特別支援教育・看護合同演習」、「緩和ケア」
20時間で1単位の科目 専門基礎科目「多職種連携実践演習Ⅰ」
専門科目「コミュニケーション論」、「多職種連携実践演習Ⅱ」

③実技・実習科目

30時間の実技・実習で1単位になります。ただし、科目によって単位数の異なるものもあります。
45時間で1単位の科目 専門科目「海外研修」

④臨地実習

看護学実習・公衆衛生看護学実習は、45時間の実習で1単位となります。

また、学修量は上記の授業時間数だけで算定されるものではなく、教室外で自学自習する時間も含むことになっています。1単位の学修時間は、授業時間とその授業のための準備（予習・復習）をする教室外での自学自習時間を合わせた45時間となっています。例えば講義2単位（30時間）の場合、60時間の自学自習時間が必要となります。
なお、学外実習については、別に定めます。

C A P 制

C A P 制とは

半期に履修登録できる単位数に上限を定め、授業科目を適切に履修するための制度です。この上限を超える履修登録はできません。

1単位の学修時間は、授業時間とその授業のための準備（予習・復習）をする教室外での自学自習時間を合わせて45時間となっています。履修した科目数に比例して、それぞれに必要な学修時間も増えることとなるため、履修登録できる単位数を制限することで、履修する科目について十分な学修時間を確保することができ、また学修した内容を真に身につけることができます。

履修登録 上限単位数

前期 24 単位
後期 25 単位

ただし、当該学期の直前の学期のG P Aに基づき、次のとおり単位数の上限を変更して取り扱います。

直前の学期のG P Aが 1.0 未満の者 22 単位

対象科目

卒業要件に算入できる科目。

卒業要件

卒業するためには休学期間を除き4年以上在学し、次の表を充足する単位数の修得が必要です。

授業科目	区分	必修	選択
建学の精神に関する科目	建学の精神	4	
	(小計)	4	
教養基礎科目 (Yawaragi Basis)	基礎力	6	7
	言葉とコミュニケーション	2	
	人文科学		
	社会科学		
	自然科学		
	複合領域		
	(小計)	8	7
専門基礎科目	人体の構造と機能	8	4
	疾病の成り立ちと回復促進	12	
	人間理解	2	
	社会と健康支援	7	
	(小計)	29	4
専門科目	基礎看護学	14	
	成人看護学	9	
	老年看護学	8	
	小児看護学	7	
	母性看護学	6	
	精神看護学	7	
	地域・在宅看護論	8	
	看護の統合	13	2
	公衆衛生看護学	2	
	(小計)	74	2
卒業資格最低単位数合計		128	

教育課程

(1) 開講年次欄の1・2・3・4は学年を示し、●・■・○の位置が左寄りは前期、右寄りは後期、中央は通年の開講を表します。●・■の右の数字は、授業時間数を表します。

●：週1回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目

○：週2回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目

■：週1回開講し、2セメスター（1年）で完結する科目

☆：不定期に開講し、2セメスター（1年）で完結する科目（授業日は別途連絡します）

△：週1回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目のうち、再履修者を対象とした開講科目

前後期両方に●が付いている科目は時間割表（履修の手引き）で指定されたクラスで受講してください。やむを得ない事情により開講期を変更することがあります。開講しない場合もありますので必ずその年度の時間割表を確認してください。

(2) 講義区分欄の「講」は講義科目、「演」は演習科目、「実」は実習・実験・実技科目を表します。

(3) 備考欄に履修上の注意が記載されている場合は、指示に従ってください。

建学の精神に関する科目

学則区分	開講授業科目	講義区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
建学の精神に関する科目	宗教学Ⅰ	講	2	2		● 30				
	宗教学Ⅱ	講	2	2		● 30				
最低修得単位				4	0					
				4単位						

教養基礎科目 (Yawaragi Basis)

YB 科目群	学則 区分	開講授業科目	講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考	
					必修	選択	1	2	3	4		
共に学ぶ	基礎力	基礎セミナーⅠ	演	1	1		● 30					
		基礎セミナーⅡ	演	1	1			● 30				
		スポーツⅠ	実	1	1	● 30						
		スポーツⅡ	実	1	1		● 30					
	人文科学	心理学概論	講	2		● 30	● 30					
		歴史学	講	2		● 30	● 30					
社会科学	日本国憲法	講	2		● 30	● 30						
	キャリアプラン	講	2		● 30	● 30						
共に拓く	基礎力	ICT基礎	演	1		● 15						
		データサイエンス入門	講	2	2		● 30					
		データサイエンス基礎	演	1			● 30					
	言語とコミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ	演	1	1	● 30						
		英語コミュニケーションⅡ	演	1	1		● 30					
		英語コミュニケーションⅢ	演	1			● 30					
		英語コミュニケーションⅣ	演	1				● 30				
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	演	1		● 30						
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	演	1			● 30					
		フランス語コミュニケーションⅠ	演	1		● 30						
		フランス語コミュニケーションⅡ	演	1			● 30					
		中国語コミュニケーションⅠ	演	1		● 30						
		中国語コミュニケーションⅡ	演	1			● 30					
		ポルトガル語コミュニケーションⅠ	演	1		● 30						
		ポルトガル語コミュニケーションⅡ	演	1			● 30					
		韓国語コミュニケーションⅠ	演	1		● 30						
		韓国語コミュニケーションⅡ	演	1			● 30					
		外国文化事情ⅠA	演	1			● 30	● 30				
		外国文化事情ⅠB	演	1			● 30	● 30				
	人文科学	映画学	講	2		● 30	● 30					
		日本文化論	講	2		● 30	● 30					
	社会科学	異文化論	講	2		● 30	● 30					
		複合領域	芸術論	演	1		● 30	● 30				
	共に生きる	人文科学	ジェンダー論	講	2		● 30	● 30				
			哲学	講	2		● 30	● 30				
社会科学		経済学	講	2		● 30	● 30					
		現代環境科学	講	2		● 30	● 30					
自然科学		天文学	講	2		● 30	● 30					
		数学	講	2		● 30	● 30					
		生物と環境	講	2		● 30	● 30					
複合領域		現代社会と福祉	講	2		● 30	● 30					
		岐阜学	講	2		● 30	● 30					
共に支え合う	社会科学	災害と危機管理	講	2		● 30	● 30					
		家族と社会保障	講	2		● 30	● 30					
	複合領域	レクリエーション	講	2		● 30	● 30					
		食生活論	演	1		● 30	● 30					
		健康科学	講	2		● 30	● 30					
		健康科学概論	講	2		● 30						
		スポーツトレーニング概論	講	2		● 30	● 30					
最低修得単位					8	7	※人文科学、社会科学、自然科学の分野から、それぞれ最低1科目は履修することが望ましい。				留学期における 単位認定	
					15単位							

留学時における
単位認定

留学生・帰国生徒に適用

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
教養科目	日本文化事情Ⅰ	講	2			●				※ 1
	日本文化事情Ⅱ	講	2			●				
	日本社会事情Ⅰ	講	2			●				
	日本社会事情Ⅱ	講	2			●				
外国語科目	日本語コミュニケーションⅠ	演	1			●				※ 2
	日本語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
	日本語Ⅰ	演	1			●				
	日本語Ⅱ	演	1			●				

※ 1 合計 4 単位まで、教養基礎科目の選択科目として履修できる。

※ 2 「言葉とコミュニケーション」として履修できる。

専門基礎科目

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次								備考
				必修	選択	1	2	3	4					
人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	講	2	2		● 30								
	解剖生理学Ⅱ	講	2	2		● 30								
	解剖生理学Ⅲ	演	1	1		● 30								
	生化学	講	1	1			● 15							
	栄養学	講	2	2			● 30							
疾病の成り立ちと回復促進	微生物学（感染・免疫を含む）	講	1	1		● 15								
	現代医療論	講	1	1		● 15								
	薬理薬剤学	講	1	1			● 15							
	病理学	講	1	1			● 15							
	病態治療学Ⅰ	講	2	2			● 30							
	病態治療学Ⅱ	講	2	2			● 30							
	病態治療学Ⅲ	講	2	2				● 30						
	病態治療学Ⅳ	講	1	1				● 15						
	遺伝情報学	講	1	1						● 15				
	笑い与健康	演	1			● 15								
	東洋医学	講	1							● 15				
	代替補完療法	講	1							● 15				
人間理解	日本手話	演	1		選択 4単位		● 15							
	看護の対象理解論	演	1					● 30						
	家庭看護学	講	1			1			● 15					
	看護英語コミュニケーション	演	1					● 15						
	臨床心理学	講	1			1					● 15			
社会と健康支援	社会福祉概論	講	1	1		● 15								
	多職種連携実践演習Ⅰ	演	1	1		● 20								
	公衆衛生学	講	2	2			● 30							
	保健統計学	講	2	2				● 30						
	退院支援論	講	1	1						● 15				
	ボランティア活動	演	1			■ 30								
	疫学	講	2					● 30						
	保健医療福祉行政論	講	2					● 30						
	データサイエンス	演	1					● 30						
最低修得単位				29	4									
				33単位										

※ボランティア活動は専門領域別看護学実習、緩和ケア実習、統合看護実習の対象年度には履修できません。

専門科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	履修単位		開講年次								備考
					必修	選択	1	2		3		4			
基礎看護学	看護学概論	講	2	2		● 30									
	コミュニケーション論	演	1	1		● 20									
	生活援助技術論	講	2	2			● 30								
	生活援助技術演習	演	1	1			● 30								
	フィジカルアセスメント	演	1	1			● 30								
	看護過程	演	1	1					● 30						
	診療援助技術論	講	2	2				● 30							
	診療援助技術演習	演	1	1				● 30							
	基礎看護学実習Ⅰ	実	1	1		● 45									
	基礎看護学実習Ⅱ	実	2	2					● 90						
成人看護学	成人看護学概論	講	2	2				● 30							
	成人慢性期看護学援助論Ⅰ	演	1	1				● 30							
	成人慢性期看護学援助論Ⅱ	演	1	1					● 30						
	成人急性期看護学援助論Ⅰ	演	1	1				● 30							
	成人急性期看護学援助論Ⅱ	演	1	1					● 30						
	成人看護学実習	実	3	3						● 135					
老年看護学	老年看護学概論	講	2	2				● 30							
	老年看護学（認知症看護）	講	1	1				● 15							
	老年看護学援助論Ⅰ	演	1	1				● 30							
	老年看護学援助論Ⅱ	演	1	1					● 30						
	老年看護学実習	実	3	3						● 135					
小児看護学	小児看護学概論	講	2	2				● 30							
	小児看護学援助論Ⅰ	演	1	1				● 30							
	小児看護学援助論Ⅱ	演	1	1					● 30						
	小児看護学実習Ⅰ	実	1	1				● 45							
	小児看護学実習Ⅱ	実	2	2						● 90					
母性看護学	母性看護学概論	講	2	2				● 30							
	母性看護学援助論Ⅰ	演	1	1				● 30							
	母性看護学援助論Ⅱ	演	1	1					● 30						
	母性看護学実習	実	2	2						● 90					
精神看護学	精神看護学概論	講	2	2				● 30							
	精神看護学援助論Ⅰ	演	1	1				● 30							
	精神看護学援助論Ⅱ	演	1	1					● 30						
	精神看護学実習	実	3	3						● 135					
地域・在宅看護論	地域・在宅看護概論Ⅰ	講	1	1			● 15								
	地域・在宅看護概論Ⅱ	講	2	2				● 30							
	地域・在宅看護援助論	演	2	2					● 60						
	地域・在宅看護論実習Ⅰ	実	1	1			● 45								
	地域・在宅看護論実習Ⅱ	実	2	2						● 90					
看護の統合	研究の基礎	講	1	1	2					● 15					
	卒業研究	演	2	2								■ 60			
	看護管理論	講	1	1								● 15			
	医療安全	講	1	1					● 15						
	災害看護論	講	1	1								● 15			
	看護倫理	講	1	1								● 15			
	海外研修	実	1							● 45					
	特別支援教育・看護合同演習	演	1								● 15				
	国際看護論	講	1								● 15				
	看護教育論	講	1	1								● 15			
	緩和ケア	演	1	1						● 15					
	緩和ケア実習	実	1	1								● 45			
	多職種連携実践演習Ⅱ	演	1	1									● 20		
	統合看護実習	実	2	2								● 90			

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次								備考
				必修	選択	1	2	3	4					
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	講	2	2			● 30							卒業要件に含まない
	公衆衛生看護方法論Ⅰ	演	1					● 30						
	公衆衛生看護方法論Ⅱ	演	1					● 30						
	公衆衛生看護方法論Ⅲ	演	1						● 30					
	公衆衛生看護管理論	講	2						● 30					
	学校保健	講	2			● 30								
	産業保健	講	1					● 15						
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	実	3						● 135					
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	実	1						● 45					
	公衆衛生看護学実習Ⅲ	実	1							● 45				
	養護概説	講	2			● 30								
	健康相談活動	講	2					● 30						
最低修得単位				74	2									
				76 単位										

(1)「専門科目」の一部には、科目履修要件があります。別表1を確認すること。

②の科目は、①の科目の単位が修得されていなければ履修できません。③の科目は、②の科目の単位が修得されていなければ履修できません。

なお、科目履修要件を満たさない場合、卒業延期が確定となるため、正規の年数（4年間）での卒業ができなくなります。

必修科目の単位は、開講年次に修得できるように心がけてください。

別表1

領域名	科目名		
	①	②	③
成人看護学	成人看護学概論 (2年次前期)	成人慢性期看護学援助論Ⅰ (2年次後期)	成人慢性期看護学援助論Ⅱ (3年次前期)
		成人急性期看護学援助論Ⅰ (2年次後期)	成人急性期看護学援助論Ⅱ (3年次前期)
老年看護学	老年看護学概論 (2年次前期)	老年看護学（認知症看護） (2年次後期) 老年看護学援助論Ⅰ (2年次後期)	老年看護学援助論Ⅱ (3年次前期)
小児看護学	小児看護学概論 (2年次前期)	小児看護学援助論Ⅰ (2年次後期)	小児看護学援助論Ⅱ (3年次前期)
母性看護学	母性看護学概論 (2年次前期)	母性看護学援助論Ⅰ (2年次後期)	母性看護学援助論Ⅱ (3年次前期)
精神看護学	精神看護学概論 (2年次前期)	精神看護学援助論Ⅰ (2年次後期)	精神看護学援助論Ⅱ (3年次前期)
地域・在宅看護論	地域・在宅看護概論Ⅰ (1年次後期)	地域・在宅看護概論Ⅱ (2年次後期)	地域・在宅看護援助論 (3年次前期)

(2) 保健師教育課程の学生は、別表1に加えて、別表2の科目履修要件があります。

②の科目は、①の科目の単位が修得されていなければ履修できません。③の科目は、①の科目の単位が修得されていなければ履修できません。

保健師国家試験受験資格を得るための必修科目の単位は、開講年次に修得できるように心がけてください。

別表2

領域名	科目名		
	①	②	③
公衆衛生看護学	学校保健 (1年次後期)	公衆衛生看護方法論Ⅰ (3年次前期)	公衆衛生看護方法論Ⅲ (4年次前期)
	公衆衛生看護学概論 (2年次後期)	公衆衛生看護方法論Ⅱ (3年次前期) 産業保健 (3年次前期)	公衆衛生看護管理論 (4年次前期)

(3) 単位が修得できなかった必修科目については、必ず再履修して単位を修得すること。また、履修する必修科目の時間割が重複した場合は、開講年次が下学年の科目から履修すること。なお、時間割の配慮は一切行いませんので、時間割次第で、卒業延期が確定となる場合があります。

自由選択科目

(1) 教職課程科目

開講授業科目		講義区分	単位数	開講年次								備考
				1		2		3		4		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論	講	2			●	30					卒業認定単位として数えない。 開講期は時間割を参照すること。 履修すべき科目については、教育職員免許状に関するページを参照すること。
	教師論	講	2	●	30							
	教育の社会制度論	講	2			●	30					
	教育心理学	講	2			●	30					
	特別支援教育基礎	講	2			●	30					
	教育課程論	講	2					●	30			
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の指導法	講	2			●	30					選抜試験後に開講する科目は、養護教諭教育課程履修者以外は履修できない。
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2			●	30					
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2					●	30			
	生徒指導論	講	2					●	30			
	教育相談	講	2					●	30			
	養護教諭実習（事前事後）	講	1							●	15	
教育実践に関する科目	養護教諭実習	実	4							●	120	
	教職実践演習（養護教諭）	演	2								●	30

(2) その他資格科目

開講授業科目		講義 区分	単 位 数	開講年次								備考
				1		2		3		4		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
浄土真宗本願寺派教師 資格を得るための科目	真宗概論	講	2	●	●							卒業認定単位として数えない。 修得すべき科目については、資格課程に関するページを参照すること。 履修を希望する場合は必ず教務課に直接申し出ること。
	真宗史	講	2	●	●							
	仏教概論	講	2	●	●							
	宗門法規	講	2	●	●							
	勤式作法実演	実	1	●	●							
	法話実演	実	1	●	●							
	宗教概説・仏教史	講	1	●	●							

2026年度 履修要覧

人文学部

学部共通事項

教育学部
経済情報学部
看護学部
人文学部

教育学部

経済情報学部

看護学部

人文学部

授業科目

授業科目の体系

卒業要件は、この分類によって指定されます。
具体的な科目名については、教育課程を参照してください。

- 建学の精神に関する科目
- 教養基礎科目（Yawaragi Basis）
- 専門科目

履修上の分類

必須科目	必ず履修しなければならない科目
選択必修科目	指定された科目の中から選択し、所定の単位数を必ず履修しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修できる科目
自由選択科目	単位認定はされるが、卒業要件に含まれない科目

履修上の注意点

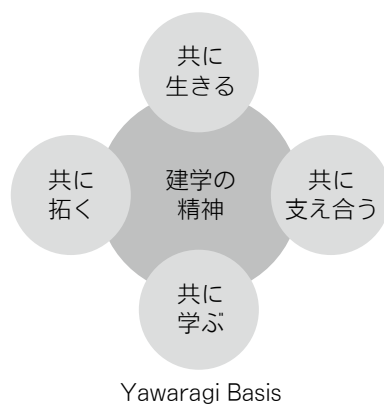
- ・在学年次よりも上級年次の授業科目は、履修できません。
- ・既に単位修得した授業科目は、再履修することができません。

Yawaragi Basisとは

「Yawaragi Basis」とは、本学の建学の精神を根幹とした学部横断型の教養教育です。
本学の建学の精神である仏教精神を具体的にあらわす言葉として、聖徳太子の『十七条の憲法』の第一条にある「以和為貴」の「和」は、「やわらかなところ」であることから、「Yawaragi Basis」と名づけています。

「Yawaragi Basis」では、「共に支えあい 創造し未来を切り拓く力」を身につけます。異なる学部の学生が共に学び、交流し、幅広い知識を身につけて、柔軟性のある思考力を涵養します。

「共に学ぶ」科目
基礎学力、知識、国語力、体力、精神力を身につけます。 基礎セミナー／スポーツ／心理学／歴史学／日本国憲法
「共に拓く」科目
日本の伝統・文化・歴史、異なるものを理解する能力、情報リテラシー、語学力を身につけます。 ICT基礎／データサイエンス／外国語科目群／映画学／日本文化論／芸術論
「共に生きる」科目
地球規模の視野、歴史的な視点、多角的な視点で物事を考える力を身につけます。 文学／地理学／数学／生物と環境／岐阜学／現代社会と福祉／統計入門
「共に支え合う」科目
社会との関わりの中で自己を位置づける力を身につけます。 法学／スポーツトレーニング概論／スポーツと健康



単位制

算出方法

大学での教育課程は、単位制となっています。
開講授業科目にはそれぞれの単位数が定められており、その単位を修得するには、科目の履修をし、所定の試験等に合格することが必要です。

単位は、授業科目の修得に必要な学修量を数字で表すものです。
本学では、各授業科目の毎週1回当たりの授業時間は90分ですが、これを制度上2時間として計算しています。
授業は前期15週、後期15週の30週が開講されることになっています。各授業科目の単位計算は、科目の種類・性質によって異なり、本学部では次のように定めています。

①講義科目

15時間の授業で1単位となります。
これにより、本学部での毎週1回1セメスター（半年間）の授業で2単位、2セメスター（週2回の場合は半年、週1回の場合は通年）の授業で4単位となります。
ただし、科目によっては、単位数の異なるものもあります。

②演習科目

30時間の授業で1単位となります。
これにより、本学部での毎週1回1セメスター（半年間）の授業で1単位となります。
ただし、15時間の授業で1単位となる科目もあります。

③実験・実習・実技科目

30時間の実験・実習・実技で1単位となります。
これにより、毎週1回1セメスター（半年間）の授業で1単位となります。ただし、科目によっては、単位数の異なるものがあります。

また、学修量は、上記の授業時間数だけで算定されるものではなく、教室外で自学自習する時間も含むことになっています。1単位の学修時間は、授業時間とその授業のための準備（予習・復習）をする教室外での自学自習時間を合わせた45時間となっています。例えば講義2単位（30時間）の場合、60時間の自学自習時間が必要となります。
なお、学外実習については、別に定めます。

C A P 制とは

半期に履修登録できる単位数に上限を定め、授業科目を適切に履修するための制度です。この上限を超える履修登録はできません。

1単位の学修時間は、授業時間とその授業のための準備（予習・復習）をする教室外での自学自習時間を合わせて45時間となっています。履修した科目に比例して、それぞれに必要な学修時間も増えることとなるため、履修登録できる単位数を制限することで、履修科目について十分な学修時間を確保することができ、また学修した内容を真に身につけることができます。

**履修登録
上限単位数**

前期 22 単位

後期 22 単位

ただし、当該学期の直前の学期のG P Aに基づき、次のとおり単位数の上限を変更して取り扱います。

直前の学期のG P Aが 1.5 未満の者 20 単位

対象科目

卒業要件に算入できる科目。

卒業要件

卒業するためには休学期間を除き 4 年以上在学し、次の表を充足する単位数の修得が必要です。

英語英米文化専攻		必修	選択
建学の精神に関する科目	建学の精神に関する科目	4	
	小計	4	
教養基礎科目 (Yawaragi Basis)	基礎力	7	5
	言葉とコミュニケーション	2	
	人文科学		
	社会科学		
	自然科学		
	複合領域		14※
小計		14	
専 門 科 目	人文学部共通科目	20	40
	専攻別科目	32	
小計		92	
卒業資格最低単位数合計		124	

※教養基礎科目選択科目・専門科目選択科目の 14 単位には、他専攻開講科目から 4 単位まで加算することができる。

日本語日本文化専攻		必修	選択
建学の精神に関する科目	建学の精神に関する科目	4	
	小計	4	
教養基礎科目 (Yawaragi Basis)	基礎力	7	5
	言葉とコミュニケーション	2	
	人文科学		
	社会科学		
	自然科学		
	複合領域		14※
小計		14	
専 門 科 目	人文学部共通科目	20	39
	専攻別科目	33	
小計		92	
卒業資格最低単位数合計		124	

※教養基礎科目選択科目・専門科目選択科目の 14 単位には、他専攻開講科目から 4 単位まで加算することができる。

歴史地理専攻		必修	選択
建学の精神に関する科目	建学の精神に関する科目	4	
	小計	4	
教養基礎科目 (Yawaragi Basis)	基礎力	7	5
	言葉とコミュニケーション	2	
	人文科学		
	社会科学		
	自然科学		
	複合領域		14※
小計		14	
専 門 科 目	人文学部共通科目	20	44
	専攻別科目	28	
小計		92	
卒業資格最低単位数合計		124	

※教養基礎科目選択科目・専門科目選択科目の 14 単位には、他専攻開講科目から 4 単位まで加算することができる。

教育課程

(1) 開講年次欄の1・2・3・4は学年を示し、●・■・○の位置が左寄りには前期、右寄りには後期、中央は通年の開講を表します。

●：週1回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目

○：週2回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目

■：週1回開講し、2セメスター（1年）で完結する科目

☆：不定期に開講し、2セメスター（1年）で完結する科目（授業日は別途連絡します）

△：週1回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目のうち、再履修者を対象とした開講科目

前後期両方に●が付いている科目は時間割表（履修の手引き）で指定されたクラスで受講してください。やむを得ない事情により開講期を変更することがあります。開講しない場合もありますので必ずその年度の時間割表を確認してください。

(2) 講義区分欄の「講」は講義科目、「演」は演習科目、「実」は実習・実験・実技科目を表します。

(3) 備考欄に履修上の注意が記載されている場合は、指示に従ってください。

建学の精神に関する科目

開講授業科目		講義区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
建学の精神に関する科目	宗教学Ⅰ	講	2	2		●				
	宗教学Ⅱ	講	2	2		●				
最低修得単位				4	0					
				4単位						

教養基礎科目（Yawaragi Basis）

YB 科目群	学則 区分	開講授業科目	講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
					必修	選択	1	2	3	4	
共に学ぶ	基礎力	基礎セミナーⅠ	演	1	1		●				
		基礎セミナーⅡ	演	1	1			●			
		スポーツⅠ	実	1	1		●				
		スポーツⅡ	実	1	1		●				
	人文科学	心理学	講	2			●	●			
共に拓く		歴史学	講	2			●	●			
	社会科学	日本国憲法	講	2			●	●			
	基礎力	ICT基礎	演	1	1		●				
		データサイエンス入門	講	2	2		●				
		データサイエンス基礎	演	1				●			
	言語とコミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ	演	1			●				人文学部の学生は、以下の科目を履修することができない。 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 英語Ⅰ・Ⅱ
		英語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
		英語Ⅰ	演	1				●			
		英語Ⅱ	演	1				●			
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	演	1			●				「言葉とコミュニケーション」開講科目のうち、ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、フランス語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱのいずれかの組み合わせを選択し履修する。
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
		フランス語コミュニケーションⅠ	演	1			●				
		フランス語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
		中国語コミュニケーションⅠ	演	1			●				留学における単位認定
		中国語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
		ドイツ語コミュニケーションⅢ	演	1				●			
		フランス語コミュニケーションⅢ	演	1				●			
		中国語コミュニケーションⅢ	演	1				●			法学（国際法を含む。）は歴史地理専攻を優先する。
		外国文化事情ⅠA	演	1				●			
		外国文化事情ⅠB	演	1				●			
		映画学	講	2			●	●			
	人文科学	日本文化論	講	2			●	●			
	複合領域	芸術論	演	1			●	●			
共に生きる	人文科学	文学	講	2			●	●			
	自然科学	地理学	講	2			●	●			
		数学	講	2			●	●			
		生物と環境	講	2			●	●			
	複合領域	岐阜学	講	2			●	●			
		現代社会と福祉	講	2			●	●			
		統計入門	講	2			●	●			
	社会科学	法学（国際法を含む。）	講	2			●	●			
		スポーツトレーニング概論	講	2			●	●			
	複合領域	スポーツと健康	講	2			●	●			
最低修得単位				9	5	※人文科学、社会科学、自然科学の分野から、それぞれ最低1科目は履修することが望ましい。					
				14単位							

留学生・帰国生徒に適用

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
教養科目	日本文化事情Ⅰ	講	2			●				※ 1
	日本文化事情Ⅱ	講	2			●				
	日本社会事情Ⅰ	講	2			●				
	日本社会事情Ⅱ	講	2			●				
外国語科目	日本語コミュニケーションⅠ	演	1			●				※ 2
	日本語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
	日本語Ⅰ	演	1			●				
	日本語Ⅱ	演	1			●				

※ 1 4単位まで、教養基礎科目の選択科目として履修できる。

※ 2 2単位を学則区分「言葉とコミュニケーション」科目の「1言語2単位選択必修」として履修できる。加えて2単位を教養基礎科目の選択科目として履修できる。

専攻共通科目 専門科目

開講授業科目	講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
共通科目	English Communication A	演	1	1	●				
	English Communication B	演	1	1	●				
	English Communication C	演	1	1	●				
	English Communication D	演	1	1	●				
	日本語スキル入門	演	1	1	●	●			
	I C T活用	演	1	1	●				
	異文化論入門	講	2	2		●			
	心理学入門	講	2	2	●	●			
	人間と文化	講	2	2	●				
	卒業研究Ⅰ	講	2	2				●	
	卒業研究Ⅱ	講	2	2				●	} ※履修条件あり P. 149「履修要件」を参照
	卒業研究Ⅲ	講	2	2				●	
	データサイエンス（地理空間）	演	1		1			●	
	データサイエンス（ことば）	演	1		1			●	
	情報実務Ⅰ	演	1		1		●		
	情報実務Ⅱ	演	1		1		●		
	情報実務Ⅲ	演	1		1			●	
	情報実務Ⅳ	演	1		1			●	
	地域創生探究Ⅰ	演	1		1		●		
	地域創生探究Ⅱ	演	1		1		●		
	就業体験（講義）	講	2		2		●		
	就業体験Ⅰ（実習）	実	1		1		☆		
	就業体験Ⅱ（実習）	実	2		2			☆	
	エアライン講座Ⅰ	演	1		1		●		
	エアライン講座Ⅱ	演	1		1			●	
	キャリアデザインⅠ	講	2	2		●			
	キャリアデザインⅡ	講	2		2		●		
	キャリアデザインⅢ	講	2		2		●		
	キャリアデザインⅣ	講	2		2			●	
	キャリアデザインⅤ	講	2		2			●	
	キャリアデザインⅥ	講	2		2			●	
	社会人基礎力養成	講	2		2		●		
最低修得単位			20						

英語英米文化専攻 専門科目

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		他専攻 開講	開講年次				備考
				必修	選択		1	2	3	4	
英語スキル基礎	英語リスニングⅠ	演	1	1		○	●				
	英語リスニングⅡ	演	1	1		○	●				
	英語リーディングⅠ	演	1	1		○	●				
	英語リーディングⅡ	演	1	1		○	●				
	英語リーディングⅢ	演	1	1		○		●			
	英語リーディングⅣ	演	1	1		○		●			
	英語ライティングⅠ	演	1	1		○	●				
	英語ライティングⅡ	演	1	1		○	●				
	Academic WritingⅠ	演	1	1		○		●			
	Academic WritingⅡ	演	1	1		○		●			
	英語音声基礎	講	2	2		○	●	●			
	英文法Ⅰ	講	2	2		○	●				
	英文法Ⅱ	講	2	2		○	●				
英語スキル発展	English Communication E	演	1	1		○		●			
	English Communication TE	演	1					●			
	English Communication F	演	1	1		○		●			
	English Communication TF	演	1					●			
	Reading and DiscussionⅠ	演	1	1		○			●		
	Reading and DiscussionⅡ	演	1	1		○			●		
	Research and PresentationⅠ	講	2		2	○				●	
	Research and PresentationⅡ	講	2		2	○				●	
	英語リーディングⅤ	講	2		2	○			●		
	英語リーディングⅥ	講	2		2	○			●		
	Academic WritingⅢ	講	2		2	○			●		
	Academic WritingⅣ	講	2		2	○			●		
	英文法Ⅲ	講	2		2			●	●		
	英語学Ⅰ	講	2	2		○		●	●		
英語学	English LinguisticsⅠ	講	2			○		●			
	英語学Ⅱ	講	2	2		○		●	●		
	English LinguisticsⅡ	講	2			○		●			
	英語学Ⅲ	講	2		2				●	●	
	英語学Ⅳ	講	2		2				●	●	
	イギリス文化研究Ⅰ	講	2	2		○	●	●			
英米文学・文化	British StudiesⅠ	講	2			○	●				
	アメリカ文化研究Ⅰ	講	2	2		○	●	●			
	American StudiesⅠ	講	2			○	●				
	英語文学ⅠA	講	2	2		○		●	●		
	英語文学ⅠB	講	2			○		●	●		
	英語文学ⅡA	講	2	2					●	●	
	英語文学ⅡB	講	2						●	●	
	英米文学研究ⅠA	講	2		2				●		
	英米文学研究ⅠB	講	2		2				●		
	英米文学研究ⅡA	講	2		2					●	
	英米文学研究ⅡB	講	2		2					●	
	イギリス文化研究Ⅱ	講	2		2			●			
	アメリカ文化研究Ⅱ	講	2		2			●			
	British StudiesⅡ	講	2		2			●			
	American StudiesⅡ	講	2		2			●			
	イギリス文化研究Ⅲ	講	2		2					●	
	アメリカ文化研究Ⅲ	講	2		2				●		
	British StudiesⅢ	講	2		2					●	
	American StudiesⅢ	講	2		2				●		

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		他専攻 開講	開講年次				備考
				必修	選択		1	2	3	4	
世界に関する知識	Great Ideas in Science I	講	2		2				●		
	Great Ideas in Science II	講	2		2					●	
	時事英語 I	講	2		2			●			
	時事英語 II	講	2		2			●			
	時事問題研究	講	2		2			●			
	デジタルメディア論	講	2		2				●		
	Business Communication I	講	2		2				●		
	Business Communication II	講	2		2					●	
	Business Communication III	講	2		2					●	
	Business Communication IV	講	2		2					●	
英語教育	教育英語研究 I	講	2		2			●			
	教育英語研究 II	講	2		2			●			
	第二言語習得論	講	2		2				●		
	学習英文法論	講	2		2				●		
	小学校英語教育研究 I	講	2		2			●			
	小学校英語教育研究 II	講	2		2			●			
資格英語	資格英語 I	演	1		1		●				
	資格英語 II	演	1		1			●			
	資格英語 III	演	1		1				●		
	資格英語 IV	演	1		1				●		
キャリア支援	言語ボランティア活動	実	1		1			☆ ☆			
	留学の安全と知識	講	2		2		●				
最低修得単位				32							

日本語日本文化専攻 専門科目

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		他専攻 開講	開講年次				備考
				必修	選択		1	2	3	4	
文章	文章表現	演	1	1			●	●			
文 日 法 語	日本語文法Ⅰ	講	2	2				●			
	日本語文法Ⅱ	講	2	2				●			
日 本 語 学	日本語学入門	講	2	2		○		●			
	日本語学Ⅰ	講	2	2		○		●			
	日本語学Ⅱ	講	2		2				●		
	日本語学Ⅲ	講	2		2					●	
	日本語史Ⅰ	講	2	2					●		
	日本語史Ⅱ	講	2		2					●	
	日本語学演習	演	1		1						●
	日本文学入門	講	2	2		○	●				
	日本文学講読A	講	2	2		○		●			
日 本 文 学 ・ 文 化	日本文学研究ⅠA	講	2		2				●		
	日本文学研究ⅡA	講	2		2					●	
	日本文学講読B	講	2	2		○		●			
	日本文学研究ⅠB	講	2		2				●		
	日本文学研究ⅡB	講	2		2					●	
	日本文学史Ⅰ	講	2	2					●		
	日本文学史Ⅱ	講	2		2					●	
	日本文学演習A	演	1		1						●
	日本文学演習B	演	1		1						●
	日本文化入門	講	2	2		○	●				
	日本文化研究Ⅰ	講	2	2		○		●			
	日本文化研究Ⅱ	講	2		2				●		
	日本文化演習	演	1		1						●
	日本文化実技演習(陶芸)	演	1		1					●	
	日本研究Ⅰ	講	2	2		○		●			
	日本研究Ⅱ	講	2		2	○			●		
	比較文学	講	2	2		○				●	
	比較文化	講	2		2	○			●		
日 本 語 教 育 学	日本語教育学入門	講	2	2		○		●			
	日本語教育研究Ⅰ	講	2	2		○		●			
	日本語教育研究Ⅱ	講	2		2				●		
	日本語教育研究Ⅲ	講	2		2					●	
	日本語教育演習	演	1		1				●		
	日本語教育方法論	講	2		2					●	
	日本語教育実地研究	実	2		2						☆
言 語 ・ 日 本 語	言語学入門	講	2		2	○		●			
	対照言語学	講	2		2	○			●		
	異文化コミュニケーション	講	2	2		○			●		
	日本語演習	演	1		1			●			
	日本語研究Ⅰ	講	2		2	○	●				
	日本語研究Ⅱ	講	2		2	○		●			
漢 文	漢文学Ⅰ	講	2		2				●		
	漢文学Ⅱ	講	2		2					●	
書 道	書道Ⅰ	演	1		1			●			
	書道Ⅱ	演	1		1			●			
留 学 生 対 象 科 目	日本語アカデミックリーディングⅠ	演	1			○					
	日本語アカデミックリーディングⅡ	演	1			○					
	日本語アカデミックライティングⅠ	演	1			○					
	日本語アカデミックライティングⅡ	演	1			○					
	日本語総合演習Ⅰ	演	1			○					
	日本語総合演習Ⅱ	演	1			○					
	日本語総合演習Ⅲ	演	1			○					
	日本語総合演習Ⅳ	演	1			○					
最低修得単位				33							

歴史地理専攻 専門科目

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		他専攻 開講	開講年次				備考
				必修	選択		1	2	3	4	
専攻基礎科目	歴史学入門Ⅰ	講	2	2		○	●				【日本史概論、外国史概論について】 ※1の科目から4単位または※2の科目から4単位を修得すること。
	歴史学入門Ⅱ	講	2	2				●			
	地理学入門Ⅰ	講	2	2		○	●				
	地理学入門Ⅱ	講	2	2				●			
	歴史学調査法	講	2	2				●			
	地理学調査法	講	2	2				●			
	世界と日本Ⅰ	講	2		2	○	●				
	世界と日本Ⅱ	講	2		2	○	●				
	地域研究（地理）	講	2		2	○		●			
	地域研究（歴史）	講	2		2	○		●			
	ジェンダー史	講	2		2	○			●		
	日本と若者	講	2		2	○			●		
	世界と若者	講	2		2	○			●		
	都市と環境	講	2		2	○			●		
	世界遺産研究	講	2		2	○			●		
	多文化社会論	講	2		2	○			●		
日本史	日本史概論ⅠA	講	2	4 ※1		○	●				【日本史演習Ⅰ・Ⅱ、外国史演習Ⅰ・Ⅱ、地理学演習Ⅰ・Ⅱについて】 ※3の科目から2単位または※4の科目から2単位または※5の科目から2単位を修得すること。
	日本史概論ⅠB	講	2			○	●				
	日本史概論ⅡA	講	2			○		●			
	日本史概論ⅡB	講	2			○		●			
	史料講読ⅠA	演	1		1			●			
	史料講読ⅡA	演	1		1			●			
	日本史特講Ⅰ	講	2		2				●		
	日本史特講Ⅱ	講	2		2				●		
	日本史演習Ⅰ	演	1	2 ※3					●		
	日本史演習Ⅱ	演	1						●		
	日本史演習Ⅲ	演	1		1	○				●	
	日本史演習Ⅳ	演	1		1	○				●	
外国史	外国史概論ⅠA	講	2	4 ※2		○	●				【日本史演習Ⅰ・Ⅱ、外国史演習Ⅰ・Ⅱ、地理学演習Ⅰ・Ⅱについて】 ※3の科目から2単位または※4の科目から2単位または※5の科目から2単位を修得すること。
	外国史概論ⅠB	講	2			○	●				
	外国史概論ⅡA	講	2			○		●			
	外国史概論ⅡB	講	2			○		●			
	史料講読ⅠB	演	1		1			●			
	史料講読ⅡB	演	1		1			●			
	史料講読ⅠC	演	1		1				●		
	外国史特講Ⅰ	講	2		2				●		
	外国史特講Ⅱ	講	2		2				●		
	外国史演習Ⅰ	演	1	2 ※4					●		
	外国史演習Ⅱ	演	1						●		
	外国史演習Ⅲ	演	1		1	○				●	
	外国史演習Ⅳ	演	1		1	○				●	
	歴史学野外演習Ⅰ	演	2		2	○				●	
	歴史学野外演習Ⅱ	演	2		2	○				●	

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位		他専攻 開講	開講年次				備考	
				必修	選択		1	2	3	4		
地理学	地理学概論	講	2	2		○	●				【日本史演習Ⅰ・Ⅱ、外国史演習Ⅰ・Ⅱ、地理学演習Ⅰ・Ⅱについて】 ※3の科目から2単位または※4の科目から2単位または※5の科目から2単位を修得すること。	
	人文地理学	講	2	2		○		●				
	自然地理学	講	2	2		○		●				
	地誌学Ⅰ	講	2	2		○		●				
	地誌学Ⅱ	講	2		2	○		●				
	地誌学特講	講	2		2				●			
	地理学特講	講	2		2					●		
	地理学野外演習Ⅰ	演	2		2					●		
	地理学野外演習Ⅱ	演	2		2							●
	地理と情報	講	2	2				●				
	地理学演習Ⅰ	演	1	2 ※5						●		
	地理学演習Ⅱ	演	1							●		
	地理学演習Ⅲ	演	1		1	○						●
	地理学演習Ⅳ	演	1		1	○						●
宗教学	日本文化と仏教Ⅰ	講	2		2	○		●				
	日本文化と仏教Ⅱ	講	2		2	○		●				
	史料講読ⅡC	演	1		1					●		
政治学・ 法学	政治学概論 (国際政治を含む。)	講	2		2			●				
社会学・ 経済学	社会学概論	講	2		2			●				
	経済学概論 (国際経済を含む。)	講	2		2			●				
哲学・ 倫理学	哲学概論	講	2		2		●					
	倫理学概論	講	2		2			●				
最低修得単位				28								

自由選択科目

(1) 教職課程科目

開講授業科目			講義 区分	単位数	開講年次				備考
					1	2	3	4	
各教科の指導法	英語英米文化専攻	中等教科教育法Ⅰ（英語）	講	2		●			卒業認定単位として数えない。 開講期は時間割表を参照すること。 修得すべき科目については、教育職員免許状に関するページを参照すること。
		中等教科教育法Ⅱ（英語）	講	2		●			
		中等教科教育法Ⅲ（英語）	講	2			●		
		中等教科教育法Ⅳ（英語）	講	2			●		
	日本語日本文化専攻	中等教科教育法Ⅰ（国語）	講	2		●			
		中等教科教育法Ⅱ（国語）	講	2		●			
		中等教科教育法Ⅲ（国語）	講	2			●		
		中等教科教育法Ⅳ（国語）	講	2			●		
	歴史地理専攻	中等教科教育法Ⅰ（社会・地理歴史）	講	2		●			
		中等教科教育法Ⅱ（社会・地理歴史）	講	2		●			
		中等教科教育法Ⅲ（社会・公民）	講	2			●		
		中等教科教育法Ⅳ（社会・公民）	講	2			●		
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2		●				
	教師論	講	2	●					
	教育の社会制度論	講	2		●				
	教育心理学	講	2		●				
	特別支援教育基礎	講	2			●			
	教育課程論	講	2			●			
道徳、総合的な学習の時間、 教育相談等に関する科目	道徳教育の指導法	講	2				●		
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2				●		
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2			●			
	生徒・進路指導論	講	2		●				
	教育相談	講	2			●			
その他 教職関係科目	介護等の体験（含 事前事後指導）	講・演	2		☆				
教育実習	中学校教育実習（事前事後）	講	1				☆		
	中学校教育実習	実	4				☆		
	高等学校教育実習（事前事後）	講	1				☆		
	高等学校教育実習	実	2				☆		
教職実践演習	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2				●		

自由選択科目

(2) その他資格科目

開講授業科目		講義 区分	単位数	開講年次				備考
				1	2	3	4	
博物館学芸員資格の科目	生涯学習概論	講	2	●				卒業認定単位として数えない。 英語英米文化専攻の学生は履修できない。
	博物館概論	講	2		●			
	博物館経営論	講	2		●			
	博物館資料論	講	2		●			
	博物館資料保存論	講	2			●		
	博物館展示論	講	2			●		
	博物館教育論	講	2				●	
	博物館・メディア論	講	2		●			
	博物館実習	講	3			●	●	
	考古学	実	2			●		
学校図書館司書資格を得るための科目	学校経営と学校図書館	講	2	●	●			卒業認定単位として数えない。
	学校図書館メディアの構成	講	2	●	●			
	学習指導と学校図書館	講	2	●	●			
	読書と豊かな人間性	講	2	●	●			
	情報メディアの活用	講	2	●	●			
浄土真宗本願寺派教師資格を得るための資格	真宗概論	講	2	●	●			卒業認定単位として数えない。 履修を希望する場合は必ず教務課に直接申し出ること。
	真宗史	講	2	●	●			
	仏教概論	講	2	●	●			
	宗門法規	講	2	●	●			
	勤式作法実演	実	1	●	●			
	法話実演	実	1	●	●			
	宗教概説・仏教史	講	1	●	●			